

令和5年6月～7月実施

R5.新島村のむらづくりに関する
アンケート調査
報告書

 新島村

目 次

I 調査概要

①調査目的	3
②調査内容	3
③調査の設計	4
④回収結果	4
⑤住民ヒアリング	4
⑤回答者の属性	
<設問1> 性別	5
<設問2> 年代	5
<設問3> 居住地	6
<設問4> 居住期間	7
<設問5> 職業	7

II 調査結果

<設問6> 総合的に見て、新島村は暮らしやすいむらですか？	9
<設問7> あなたは今後も新島村で暮らしたいですか？	9
<設問8> 新島村で暮らしたい理由は何ですか？	10
<設問9> 新島村以外で暮らしたい理由は何ですか？	11
<設問10> これからのむらづくりで、重視すべきポイント	12
<設問11> 25項目について、満足度と重要度	16
新島村のむらづくりへの自由意見	38
<設問12> 『新島村第3次総合計画』についてご存知ですか？	47

I 調査概要



①調査目的

新島村では令和3年（2021年）度から令和12年（2030年）度までを計画期間とした『新島村第3次総合計画』を進めている。この計画は、総合的な行政運営を図るための最上位計画に位置付けられている。

今回のアンケートは村民のみなさまの声を伺い、『新島村第3次総合計画』に基づいた実施事業の評価、効果検証、見直し等を行うために、意向把握を目的として実施した。

②調査内容

1.あなた（回答者）のプロフィールについて

- <設問1> あなたの性別は？
- <設問2> あなたの年齢は？
- <設問3> お住まいはどちらですか？
- <設問4> 新島村に住んで、通算（離島期間除く）何年になりますか？
- <設問5> あなたの職業は？

2.町への定住・居住意向等について

- <設問6> 総合的に見て、新島村は暮らしやすいまちですか？
- <設問7> あなたは今後も新島村で暮らしたいですか？
- ★次の設問8は、設問7で「1」または「2」と回答した方のみお答えください。
- <設問8> 新島村で暮らしたい理由は何ですか？
- ★次の設問9は、設問7で「4」と回答した方のみお答えください。
- <設問9> 新島村以外で暮らしたい理由は何ですか？

3.村政に対する評価と今後への期待

- <設問10> これからのまちづくりで、重視すべきポイント、あまり重視すべきではないポイントの番号をそれぞれ1位～3位までお選びください。
- <設問11> 以下の25項目について、満足度と重要度をお答えください。
- <設問12> 『新島村第3次総合計画』についてご存知ですか？

4.新島村のまちづくりについてご意見をお聞かせください

③調査の設計

- (1) 調査時期 令和5年6月27日～7月7日
- (2) 調査対象 満18歳以上の全島民
1, 354世帯2, 237名
- (3) 調査方法 質問紙郵送、オンライン回答

④回収結果

<有効回答数>

紙：328名

オンライン：91名

合計：419名（回答率18.7%）

⑤住民ヒアリング

アンケートの実施と並行して、若手の意識調査を目的に20代～40代の8名に、下記2点の質問を中心にヒアリングを行った。

- ①住民アンケートの設問10（p4参照）を選んだ理由
- ②「未来に向けてこういうことがしたい」
「行政と一緒にこういうことがしたい」
「これからの地域づくりで考えられる自分の役割」など
日々の生活の中で感じていること

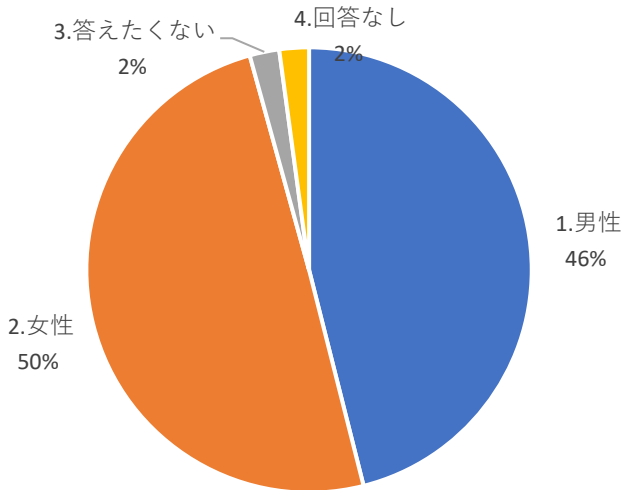
8名の内訳は下記の通り。

- (1) 20代男性（新島）
- (2) 20代男性（新島）
- (3) 30代男性（式根島）
- (4) 30代女性（新島）
- (5) 30代女性（式根島）
- (6) 40代男性（新島）
- (7) 40代男性（式根島）
- (8) 40代女性（新島）

※住民基本台帳から無作為抽出
※住民ヒアリングの報告書は別途

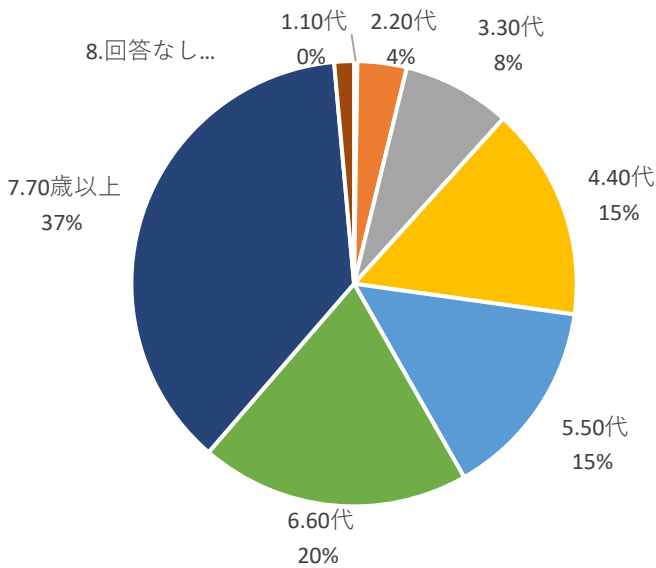
⑤回答者の属性

<設問1> 性別



項目	回答数
1.男性	193
2.女性	208
3.答えたくない	9
4.回答なし	9

<設問2> 年代

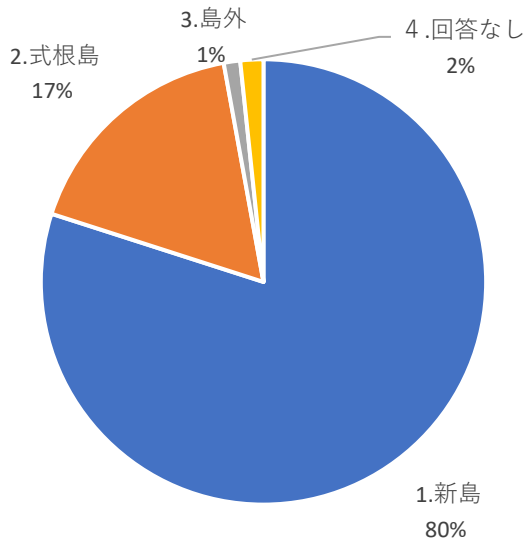


項目	回答数
1.10代	1
2.20代	15
3.30代	33
4.40代	65
5.50代	61
6.60代	82
7.70歳以上	156
8.回答なし	6

n=419

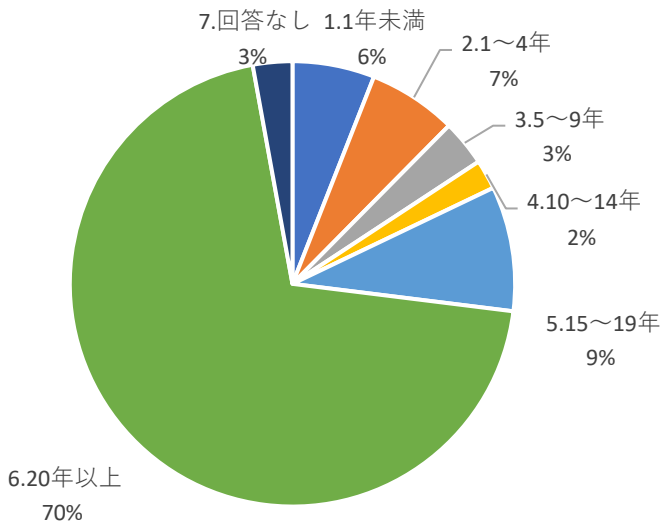
⑤回答者の属性

<設問3> 居住地



項目	回答数
1.新島	335
2.式根島	72
3.島外	5
4.回答なし	7

<設問4> 居住期間

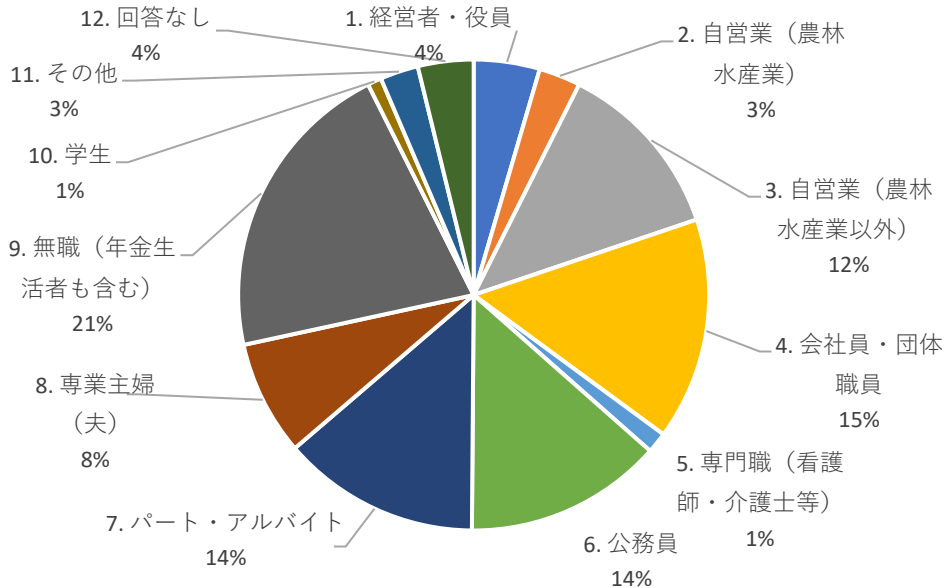


項目	回答数
1.1年未満	25
2.2.1~4年	27
3.3.5~9年	14
4.4.10~14年	9
5.5.15~19年	38
6.20年以上	294
7.回答なし	12

n=419

⑤回答者の属性

<設問 5 > 職業



項目	回答数
1. 経営者・役員	19
2. 自営業 (農林水産業)	12
3. 自営業 (農林水産業以外)	52
4. 会社員・団体職員	64
5. 専門職 (看護師・介護士等)	6
6. 公務員	57
7. パート・アルバイト	57
8. 専業主婦 (夫)	33
9. 無職 (年金生活者も含む)	88
10. 学生	4
11. その他	11
12. 回答なし	16

<<設問 1～5 について>>

有効回答数は合計で419名（紙：328名、オンライン：91名）、回答率18.7%。とりわけ若年層の回答率が著しく低かった。10代（1名回答/全体の0%）、20代（15名回答/全体の4%）、30代（33名回答/全体の8%）。

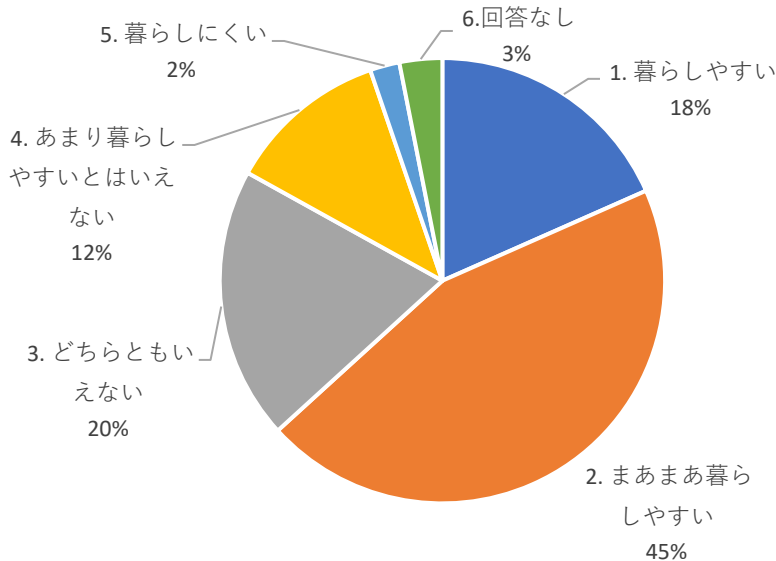
このアンケートが何にいかされるのかといった実施目的や時期、内容についても検討を行い、次回以降の回答率向上に努めていきたい。

II 調查結果

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

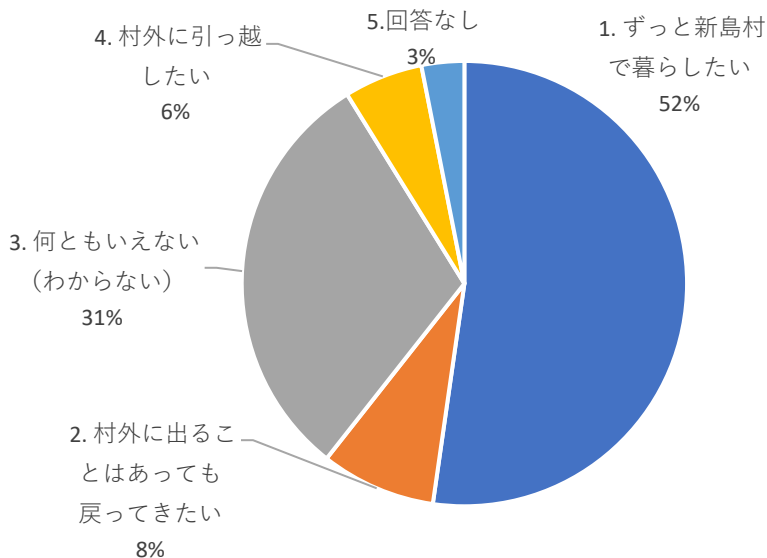
新島村への定住・居住意向等について

<設問6> 総合的に見て、新島村は暮らしやすいむらですか？



項目	回答数
1. 暮らしやすい	77
2. まあまあ暮らしやすい	188
3. どちらともいえない	83
4. あまり暮らしやすいとはいえない	49
5. 暮らしにくい	9
6. 回答なし	13

<設問7> あなたは今後も新島村で暮らしたいですか？

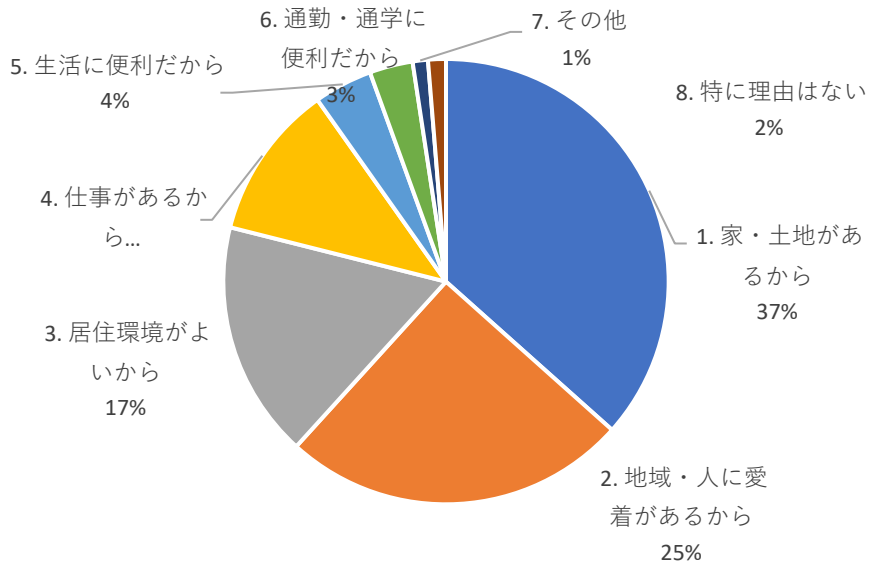


項目	回答数
1. ずっと新島村で暮らしたい	219
2. 村外に出ることはあっても戻ってきたい	35
3. 何ともいえない(わからない)	128
4. 村外に引っ越したい	24
5. 回答なし	13

n=419

新島村への定住・居住意向等について

<設問 8> 新島村で暮らしたい理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）



項目	回答数
1. 家・土地があるから	198
2. 地域・人に愛着があるから	136
3. 居住環境がよいから	93
4. 仕事があるから	61
5. 生活に便利だから	23
6. 通勤・通学に便利だから	17
7. その他	6
8. 特に理由はない	7

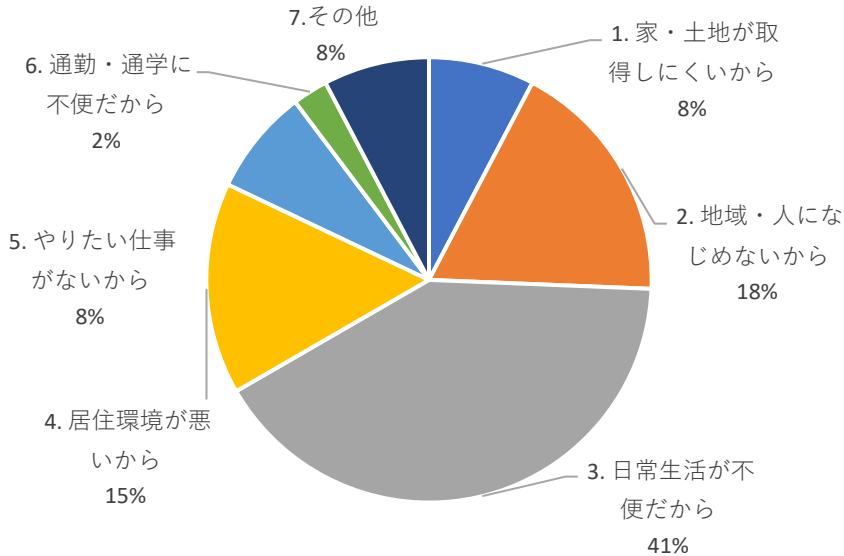
7.その他回答

- ・首都東京からの程よい距離、恩恵がある島だと思っている。
- ・自分のライフスタイルに合うため。
- ・サーフィンできる環境があるから。
- ・持続性を期待できる地理的・人的要因がある。
- ・人が優しく、きれいな海、気軽に入れる温泉があること。
- ・子育てに良い環境だから。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

新島村への定住・居住意向等について

<設問9> 新島村以外で暮らしたい理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）



項目	回答数
1. 家・土地が取得しにくいから	3
2. 地域・人になじめないから	7
3. 日常生活が不便だから	16
4. 居住環境が悪いから	6
5. やりたい仕事がないから	3
6. 通勤・通学に不便だから	1
7. その他	3

7.その他回答

- ・物価が高すぎる
- ・任期
- ・今後の少子化、過疎化に対する策、行政の進め方を見て発展性を感じられない

<<設問6～9について>>

<設問6>総合的に見て、新島村は暮らしやすいむらですか？では、「1. 暮らしやすい」（77名/18%）、「2. まあまあ暮らしやすい」（188名/45%）の合計63%。

一方で<設問7>あなたは今後も新島村で暮らしたいですか？では、「1. ずっと新島村で暮らしたい」（219名/52%）、「2. 村外に出ることはあっても戻ってきたい」（35名/8%）の合計が60%あるものの、「3. 何ともいえない（わからない）」が128名/31%あり、新島村に住み続けられないと考える何かしらの要因があることが推測される。

また暮らしにくさを感じている住人もいるため、今回のアンケートを参考に改善を図りたい。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

村政に対する評価と今後への期待

<設問10> これからのむらづくりで、重視すべきポイント

▼第1位

番号	人数
7. 観光振興	50
3. 次世代産業の育成・支援	42
1. 農業・漁業の振興	38
11. 移住・定住推進	32
30. 空き家や老朽化住宅などへの対策	26
15. 子ども・子育て支援	25
18. 健康づくりと保健・医療体制の充実	23
16. 介護高齢者福祉の向上	20
32. 移動手段の充実	14
10. 企業誘致	11
5. 新島村ブランドの強化	8
6. 地域資源のさらなる活用	8
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	8
9. 起業・創業・継業支援	7
2. 水産加工業の振興	5
4. 特産品の開発	5
14. 役場、団体、民間の連携	5
33. 情報伝達手段の充実	5
20. 防災組織の充実と防災意識の向上	4
23. 村土の保全	4
27. 住環境の整備と活用	4
28. 漁港・空港の整備と活用	4
34. 学校教育の充実	4
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	3
8. 商業振興	2
12. 関係人口獲得推進	2
13. 地域おこし協力隊の導入推進	2
17. 障害者福祉の向上	2
22. 地域コミュニティの活性化	2
29. 防災拠点・災害関連施設の整備	2
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	2
24. 緑化・修景美化	1
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	1

▼第2位

番号	人数
30. 空き家や老朽化住宅などへの対策	36
11. 移住・定住推進	33
7. 観光振興	30
15. 子ども・子育て支援	29
18. 健康づくりと保健・医療体制の充実	24
3. 次世代産業の育成・支援	19
1. 農業・漁業の振興	17
16. 介護高齢者福祉の向上	17
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	12
5. 新島村ブランドの強化	10
27. 住環境の整備と活用	10
32. 移動手段の充実	10
4. 特産品の開発	8
9. 起業・創業・継業支援	8
12. 関係人口獲得推進	8
2. 水産加工業の振興	7
6. 地域資源のさらなる活用	7
14. 役場、団体、民間の連携	7
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	7
29. 防災拠点・災害関連施設の整備	7
17. 障害者福祉の向上	6
20. 防災組織の充実と防災意識の向上	6
22. 地域コミュニティの活性化	6
23. 村土の保全	5
35. 地域教育環境の充実	5
8. 商業振興	4
31. 循環型社会への転換	4
34. 学校教育の充実	4
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	4
10. 企業誘致	3
13. 地域おこし協力隊の導入推進	3
28. 漁港・空港の整備と活用	3
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	3
21. 防犯・交通安全対策	2
24. 緑化・修景美化	2
19. ボランティア活動・住民活動の支援	1
33. 情報伝達手段の充実	1
40. その他	1

村政に対する評価と今後への期待

<設問10> これからのむらづくりで、重視すべきポイント

▼第3位

番号	人数
30. 空き家や老朽化住宅などへの対策	51
32. 移動手段の充実	21
1. 農業・漁業の振興	20
7. 観光振興	20
16. 介護高齢者福祉の向上	20
11. 移住・定住推進	18
14. 役場、団体、民間の連携	18
18. 健康づくりと保健・医療体制の充実	16
15. 子ども・子育て支援	15
6. 地域資源のさらなる活用	11
27. 住環境の整備と活用	10
9. 起業・創業・継業支援	9
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	9
3. 次世代産業の育成・支援	8
10. 企業誘致	8
20. 防災組織の充実と防災意識の向上	8
24. 緑化・修景美化	8
23. 村土の保全	7
37. 文化財の指定・保存・継承	7
29. 防災拠点・災害関連施設の整備	6
35. 地域教育環境の充実	6
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	6
22. 地域コミュニティの活性化	5
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	5
8. 商業振興	4
12. 関係人口獲得推進	4
13. 地域おこし協力隊の導入推進	4
38. 生涯学習	4
2. 水産加工業の振興	3
5. 新島村ブランドの強化	3
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	3
28. 漁港・空港の整備と活用	3
31. 循環型社会への転換	3
33. 情報伝達手段の充実	3
40. その他	3
4. 特産品の開発	2
17. 障害者福祉の向上	2
19. ボランティア活動・住民活動の支援	2
21. 防犯・交通安全対策	2

<その他>

- ・道路整備
- ・公共工事を増やす努力を
- ・羽伏桟橋工事、テトラの設置
- ・客集めのため、一年中利用できる温水プール（リハビリ用、一般用、学生用、スクール用）。温泉源を利用し湯煎式で壊れた時に対応できて沸かせるようにも。雇用も発生するが村への収入も期待したい。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

村政に対する評価と今後への期待

<設問10> これからのむらづくりで、あまり重視すべきではないポイント

▼第1位

番号	人数
10. 企業誘致	15
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	10
28. 漁港・空港の整備と活用	8
1. 農業・漁業の振興	7
38. 生涯学習	7
11. 移住・定住推進	6
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	6
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	6
3. 次世代産業の育成・支援	5
9. 起業・創業・継業支援	5
19. ボランティア活動・住民活動の支援	5
21. 防犯・交通安全対策	5
13. 地域おこし協力隊の導入推進	4
24. 緑化・修景美化	4
2. 水産加工業の振興	3
5. 新島村ブランドの強化	3
7. 観光振興	3
22. 地域コミュニティの活性化	3
30. 空き家や老朽化住宅などへの対策	3
37. 文化財の指定・保存・継承	3
6. 地域資源のさらなる活用	2
12. 関係人口獲得推進	2
16. 介護高齢者福祉の向上	2
33. 情報伝達手段の充実	2
4. 特産品の開発	1
23. 村土の保全	1
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	1
29. 防災拠点・災害関連施設の整備	1
32. 移動手段の充実	1
35. 地域教育環境の充実	1

▼第2位

番号	人数
10. 企業誘致	12
22. 地域コミュニティの活性化	11
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	10
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	10
11. 移住・定住推進	6
33. 情報伝達手段の充実	6
38. 生涯学習	6
4. 特産品の開発	5
12. 関係人口獲得推進	5
19. ボランティア活動・住民活動の支援	5
31. 循環型社会への転換	5
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	5
24. 緑化・修景美化	4
28. 漁港・空港の整備と活用	4
32. 移動手段の充実	4
2. 水産加工業の振興	3
3. 次世代産業の育成・支援	3
14. 役場、団体、民間の連携	3
5. 新島村ブランドの強化	2
8. 商業振興	2
17. 障害者福祉の向上	2
21. 防犯・交通安全対策	2
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	2
6. 地域資源のさらなる活用	1
15. 子ども・子育て支援	1
18. 健康づくりと保健・医療体制の充実	1
20. 防災組織の充実と防災意識の向上	1
27. 住環境の整備と活用	1
34. 学校教育の充実	1
35. 地域教育環境の充実	1
37. 文化財の指定・保存・継承	1

村政に対する評価と今後への期待

<設問10> これからのむらづくりで、あまり重視すべきではないポイント

▼第3位

番号	人数
39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進	22
36. 文化・スポーツ・レクリエーション振興	10
21. 防犯・交通安全対策	9
38. 生涯学習	9
10. 企業誘致	8
31. 循環型社会への転換	7
12. 関係人口獲得推進	6
7. 観光振興	5
37. 文化財の指定・保存・継承	5
6. 地域資源のさらなる活用	4
13 地域おこし協力隊の導入推進	4
32. 移動手段の充実	4
33. 情報伝達手段の充実	4
25. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	3
30. 空き家や老朽化住宅などへの対策	3
3. 次世代産業の育成・支援	2
4. 特産品の開発	2
8. 商業振興	2
19. ボランティア活動・住民活動の支援	2
22. 地域コミュニティの活性化	2
23. 村土の保全	2
24. 緑化・修景美化	2
27. 住環境の整備と活用	2
29. 防災拠点・災害関連施設の整備	2
35. 地域教育環境の充実	2
2. 水産加工業の振興	1
5. 新島村ブランドの強化	1
9. 起業・創業・継業支援	1
15. 子ども・子育て支援	1
16. 介護高齢者福祉の向上	1
26. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持管理	1
28. 漁港・空港の整備と活用	1
34. 学校教育の充実	1
40. その他	1

<<設問10について>>

「重視すべきポイント」は、1～3位の各上位に「7. 観光振興」「3. 次世代産業の育成・支援」「1. 農業・漁業の振興」「11. 移住・定住推進」「30. 空き家や老朽化住宅などへの対策」「6. 地域資源のさらなる活用」「18. 健康づくりと保健・医療体制の充実」「16. 介護高齢者福祉の向上」「32. 移動手段の充実」など、重複する項目が選ばれた。とりわけ「7. 観光振興」「30. 空き家や老朽化住宅などへの対策」などが最重要視されていることが伺える。

一方、「あまり重視すべきではないポイント」には、「10. 企業誘致」や「39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進」が各上位に選ばれた。「10. 企業誘致」については、具体的に島に不足している職種や、事業を補完または連携するような企業ならば、需要があるのかもしれない（今回のアンケートでも葬儀社を誘致してほしいという意見があった）。「39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進」については、継続にあたり実施の意義を伝えていく必要性を感じた。ふるさと納税は昨年度はじめてばかりだが、今後、人口減少にともない税収が減収となる可能性が高い中で、「39. ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進」は貴重な歳入となり、かつ島内の事業者支援となる。また新島の魅力を対外的に発信する機会ともなるため、上手に活用していくべきではないか。

設問10の項目は、本来すべて重視すべきポイントである。ただし、すべての項目に十分な予算を確保することは今後さらに難しくなる。すでに十分できている（住民生活に支障がない）項目については現状維持に留め、喫緊の課題を把握し、優先順位をつけることが求められる。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

村政に対する評価と今後への期待

<設問11> 以下の25項目について、満足度と重要度をお答えください。

これまでの新島村の取組みに対する『満足度』と今後新島村が取り組むことの『重要度』について、それぞれ1～5の中から1つに○印をつけてください。	新島村の取組みに対する『満足度』						今後新島村が取り組むことの『重要度』					
	満足	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満	回答なし	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	回答なし
島とつなげる～産業と交流～												
1. 農業・漁業の振興	11	26	161	122	64	35	166	111	59	14	6	63
2. 水産加工業の振興	12	44	201	81	38	43	123	118	93	10	7	68
3. 次世代産業の創出	2	11	179	115	68	44	150	94	84	14	4	73
4. 観光の振興	8	31	122	142	84	32	189	93	53	12	5	67
5. 商業の振興	4	32	191	114	36	42	121	123	94	6	1	74
6. 移住・定住の促進	8	32	169	101	72	47	163	87	79	16	4	70
島でくらす～制度と共助～												
7. 子ども・子育て支援	24	93	173	53	31	45	188	88	63	5	3	72
8. 介護・高齢者福祉	23	97	171	56	42	30	198	95	62	5	2	57
9. 障害者福祉	20	58	233	43	26	39	129	109	105	6	3	67
10. 健康づくりと保険・医療体制	24	123	154	66	24	28	170	120	66	0	1	62
11. 地域福祉（誰もが参加できる社会づくり）	15	68	227	57	18	34	93	111	138	13	4	60
12. 防災・減災対策の推進（意識向上、計画策定、組織強化）	25	99	176	60	23	36	160	105	90	2	2	60
13. 防犯・交通安全対策	36	117	182	36	14	34	100	127	114	13	8	57
14. 地域コミュニティの活性化	5	34	70	23	9	278	26	35	47	9	3	299

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

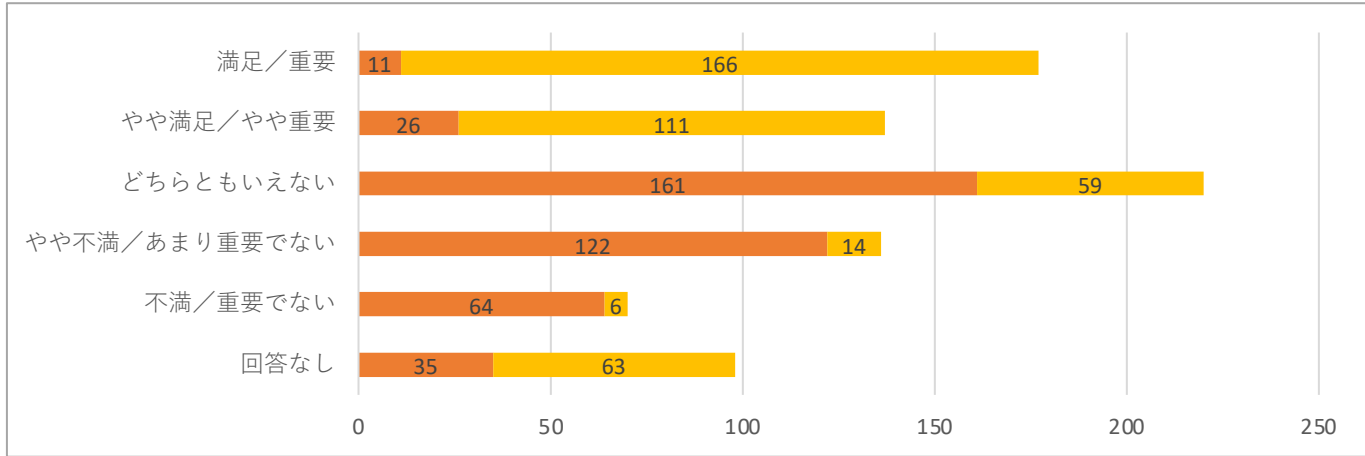
村政に対する評価と今後への期待

<設問11> 以下の25項目について、満足度と重要度をお答えください。

これまでの新島村の取組みに対する『満足度』と今後新島村が取り組むことの『重要度』について、それぞれ1～5の中から1つに○印をつけてください。	新島村の取組みに対する『満足度』						今後新島村が取り組むことの『重要度』					
	満足	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満	回答なし	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	回答なし
島をまもる～環境と基盤～												
15. 村土の保全	17	60	203	73	23	43	140	106	91	10	2	70
16. 緑化・修景美化の推進	23	73	156	105	26	36	108	141	85	14	4	67
17. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用	16	25	210	90	38	40	123	101	98	15	10	72
18. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持と管理	54	115	136	60	17	37	188	105	51	3	1	71
19. 防災・減災対策の推進（拠点・関連施設の整備）	33	93	178	56	17	42	161	110	68	6	2	72
20. 住環境の整備と活用	20	62	175	97	25	40	121	110	68	6	2	112
21. 漁港・空港の整備と活用	23	117	145	65	28	41	121	129	81	2	4	82
島でそだてる～個性と社会性～												
22. 学校教育環境の充実	35	119	166	43	12	44	164	104	68	7	3	73
23. 地域教育環境の充実	29	106	177	49	14	44	135	113	86	9	3	73
24. 可能性・多様性を知る機会の創出	13	51	239	60	17	39	97	109	113	15	10	75
25. 郷土愛を育む機会の創出	16	63	195	41	17	87	97	102	104	10	3	103

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

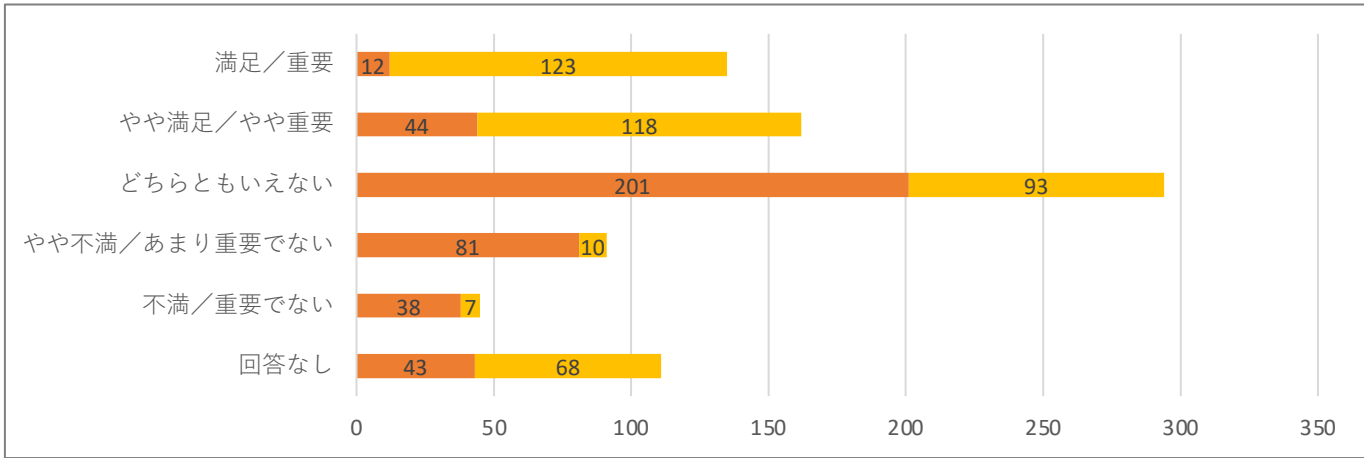
1. 農業・漁業の振興



< 関連意見 >

- ・畑の狭い道は草がのびすぎて奥にある自畑に車で行けなくなるので村で草刈りをしてほしい。高齢者は草刈りができなくて畑をやめる人がいる。
- ・農地があちこち放置されている。もう少し若ければと思う。若い人、移住者でもやりたいと思う人がいるらしい。整備して農業をやってみたい人に貸せるようにしたらどうか。
- ・畑の休耕地がとても残念に思います。何か有効利用できないものか？現状のやり方は農業に対して意欲にかけるのでは？
- ・農業に力を入れていく事が今後重要となってくる。島内での食糧自給率を工夫して上げていくべき。魚介類は資源そのものが減ってきているので新島での養殖場を検討したり、島で育てやすい野菜の研究等、必要と思う。
- ・畑の用具が錆びたりしている高齢者が多いと思います。畑の支援や援助をしてけると皆嬉しいと思います。
- ・山道に落ちている落ち葉も集めて新島村の腐葉土として売れば良い。
- ・農協の商品が高すぎる。他県の農協商品は安いのに。
- ・農家さんが作った野菜を農協で買えるのはとても良い事で、LINEでの情報発信があり購入しやすい。それに比べて漁協は若郷だし、村内では地元でとれる新鮮な魚を手にいれるのが難しい。観光客が島に来たら、島の魚が買いやすければ良いのと思う。
- ・地魚を安く手軽に購入できるようにしてほしい。
- ・ふれあい農園に動物を飼ってほしい。ヤギを飼って散歩しながら葉を食べさせたり、畑の（使っていない所など）貸し出して葉を食べさせて、どれだけ食べるのか子どもたちに見せたい。ヤギは5万くらいで買えるので資金がなければ寄付をしたい（飼ってもらえるなら）。
- ・島で生活しているにもかかわらず、海の幸にめぐり合う機会が極端にまれである。不思議なことだと常々思う。
- ・島の水産物は減っています。また、島の水産物なのに島民に回らない！（高すぎる）。農業にしても、売れる（金になる物）に対する「執着」が激しすぎる。もう少し島民のための形を考えてほしい。
- ・漁はしているようだが、お店に生魚が出ないので、販売してはどうか？
- ・農業、漁業の振興（観光客・島民向けの市場）

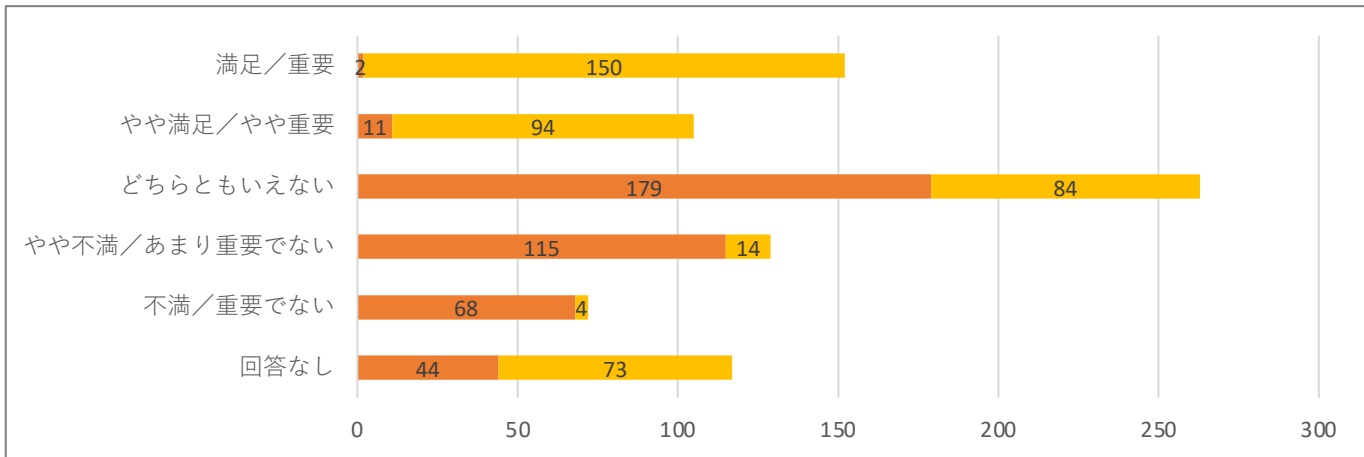
2. 水産加工業の振興



< 関連意見 >

- ・赤イカ等を使用した加工品の充実を図る（赤いか、さきいかキムチ等）。

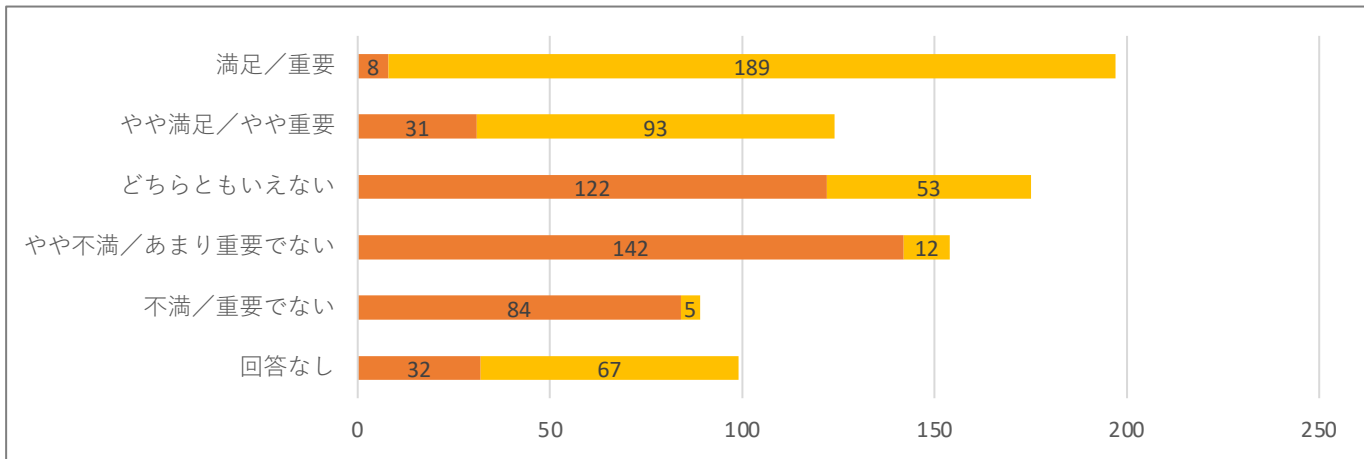
3. 次世代産業の創出



< 関連意見 >

- ・十分な収入が得られるやりがいのある産業を育てるべきだと思います。

4. 観光の振興



< 関連意見 >

- ・BBQ場に鉄板、網を以前のように置いてほしいです。
- ・もし私が観光に来たとしたら、何を土産に買って帰るかな？って考えた時にすごく困ります。新島村で作っているお菓子の少なさ。1つでもいいから、これがいいって思える物がほしいです。
- ・観光の徹底追求がない。感じられない。観光資源の再認識が必要。私に言わせれば当事者の能力不足、再教育が必要。例をあげれば百合の花の伐採。6月の花盛に一部の群落が刈り取られた。庭園造りの専門家による教育が必要。新島は東京に近く、島に平坦部も多く、道路も整備され、幅広い年齢層にマッチできる絶好の島である。大いに利点を生かすべし。えびねが復活してほしい。最後に鹿の問題。鹿と農業の再構築を計るべし。島の生活にどっぷりだと頭が働かなくなるので意識的に考えたほうが良い。気が付かない自分がある。時代は常に変わりつつある。鹿と共存できない小さな島ではない。なんとか共存して観光に役立てたい。観光のためのコースをもっと作ったらどうか。にしきによる島一周のコースも周2回ぐらいあってもいい。年寄り、子どもに好かれよう。テニスコートをもっと整備すれば高校、大学のテニス部夏季合宿に最適。コート6面は必要。庭球協会に相談したらどうか。
- ・観光に力を入れる。パワースポットを作る。写真映えスポット。
- ・観光や暮らし①新島・式根島の未来デザインを図にしてわかりやすく共有（住民センターに貼ってある大きな絵を新しく）②デザインの統一（例：商店のレジ袋、家の色）③新島村の「出来るリスト」を作って実行する。④儲かる仕組みづくり。
- ・キャンプ場を有料化して、薪を売ったら良いと思う。儲けを出したらダメと聞くのでその資金は整備にまわせば良い。薪も農道の切らねばならない木や倒れている木を利用すればと考える。
- ・無料の温泉やシャワーなどありがたいが、多少お金をとっていいのではないか。
- ・羽伏の栈橋をなくしてほしい。テトラをなくしてほしい。和田浜の海に沈めてあるセンチをもっと沖に入れ直してほしい。もっと観光客が楽しめる環境を作してほしい。羽伏の砂浜に戻ってくる努力をしてほしい。
- ・民宿がだんだん“素泊まり型”に変わりつつある。現在、夕食がお弁当頼みになりつつあるのでお客様は味気ないと思う。リピートに結びつけるのは難しいと思う。言い方が悪いが自分の所がよければ・・・と考える方々が多くなりつつあるように思う。もっとグローバルに考えるにはどうしたらいいか真剣に話し合うことが必要。

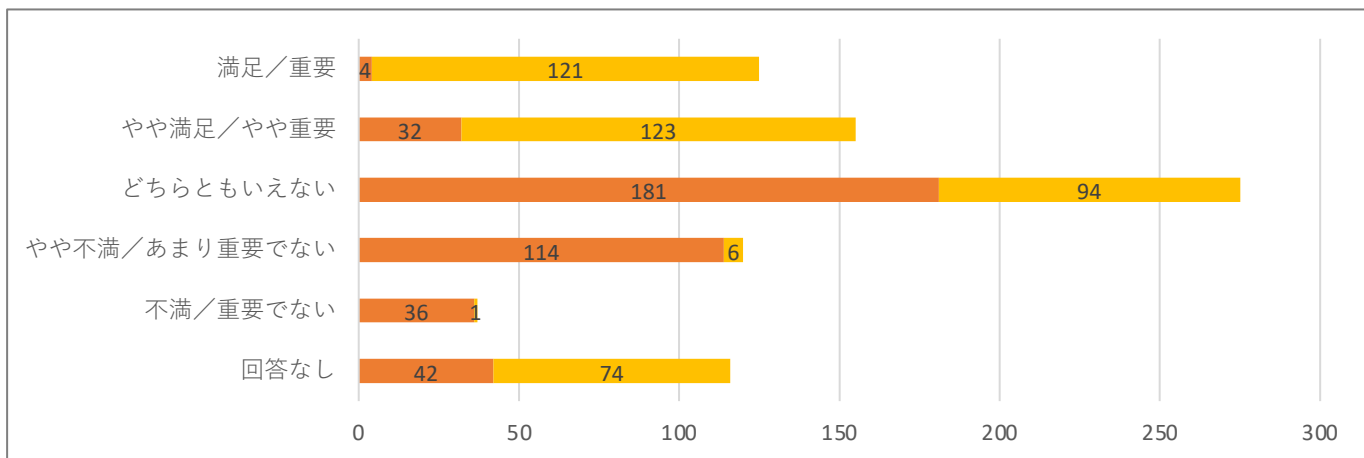
R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・まず島に来てもらえるような魅力あるPRをするべきだと思います（観光シーズンには店を開け、にぎわいを見せるなど・・・）。また住民も変わっていく意識をもつことが必要だと思います。新島も「星空保護区」など申請してみてもどうでしょうか。
- ・観光客が来た時、この小さな島、行く所が数少ないのに立入禁止が何ヶ所もあるのがさみしいです。食べる場所がない、休む場所がない、島のみやげ物がない。これを是非クリアしてほしいです。
- ・地球規模ではあるがco2問題への対処のため緑の多い自然作りが必要。これらは観光にも良い影響がある。島ならではの自然を生かした観光地。人工物は必要最小限でよい。このような小さい島は最後は漁業と観光業ではないでしょうか。
- ・自然環境をいかした観光振興の発展が重要。
- ・農業、漁業の衰退の中で観光産業も盛り上がりがいまいち。しかし計画を企てることで盛り上げは可能だと思う。イベントを行うだけではなく、新島村の売りはどこか、何かを見定めて観光資源とするならどうPRし、お客様に満足して帰っていただくには、どうしたらいいのか細かい点まで突き詰めて考え、実際に行動する必要がある。現状を見ているとどうしたらお客様に満足してもらえるか詰められていない。とくに新島は。離島ブームで努力しないで観光地になったことで、来島者に満足していただく気持ちが欠けている。
- ・モヤイ像の洗浄。
- ・著名な人にモヤイ像を彫ってもらい飾っていく。
- ・旧中学校跡、星空鑑賞スペースに。
- ・羽伏浦キャンプ場でのキャンプ道具の貸出サービス。
- ・羽伏浦公園をライブなどイベント会場としての有効利用。
- ・お土産の充実化。内地製造の明日葉関係のお土産はどこでも買えるし喜ばれない。仕方がなく購入している。新島産唐辛子や最近販売した塩などはとても良い。
- ・新島ガラスの低価格化。折角の特産品なのに値段が高すぎて貴重な観光客たちが購入を断念している姿が多々見受けられる。
- ・新島村の基幹産業は観光業であり、その基盤・集客材料となるのは何よりも海を中心とした自然です。羽伏浦海岸や和田浜海岸の復旧、石白川海岸など、観光の基盤となる海岸施設の整備について、全力で東京都に要望してください。メインゲート横や和田浜の海岸道路を早く復旧してください。
- ・サーフィンだけではなくスケートボードエリアを拡大しサーフスケートアイランドにすること。（きんぷく屋内にもパンプトラックを設置するなど）
- ・もう一つぐらい、温泉施設が欲しい。付加価値付き商品券の販売。
- ・観光のお客さんが求めているものはなんだろう。自然だったりするなら石山トレッキングのような簡単なアクティビティが他にあったらと思う。森林浴できる空間が有るだけでも違うのかなと。せっかく旅行に来たのに郷土料理が食べられるお店が無いのも残念です。民宿でも新島産の料理が並ぶような宿が理想で、それには農家さんや漁師さんが増えないと厳しいと思う。また来たい！って思っただけで貰えるような村になって欲しいです。
- ・人材不足や環境変化から第一次産業が衰退するなかで、新島村に残された希望は「観光産業」ではないかと感じています。特に新島は数十年前の離島ブームの影響がまだ残っているように思いますが、大胆な方向転換やテコ入れをしないと、このままじり貧になるのではと非常に危惧しています。観光の島として活性化することは、全ての産業を底上げすることになりますし、環境保全と新産業の創出にもつながると思います。今、社会の現場はどこも限界まできていて、存続が困難な状況になりつつあります。このまま同じことを続けていても、1滴の水でコップの水があふれるように崩壊するのではと不安を感じます。これまでのところ、総合計画に基づいて村が何かアクションを起こしているという実感はありません。前例・先例に縛られず、現状維持より変化、全部盛りの見栄えのよい宣言より「1歩でいいから確実な前進」を期待します。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・若郷地区も観光に力が入るとより魅力がある島になるのではと思います。
- ・雨が降った際に島で観光気分を味わえる施設があれば良いと思う（式根島の映像、星空、動植物等の紹介や博物館）。
- ・観光振興（リゾートホテル、企業誘致）。
- ・飲食店が少ないので、夏のシーズンだけでも何か出店する等、対策を考えてほしい。
観光客の友達が食難民になっていて可哀想。
- ・観光に携わる方々はもっと観光地らしい立ち振る舞いをした方が良いです。
- ・温泉保全事業への島民活動の巻き込み（ヒアリングだけでなく、ワークショップ開催→テーマコミュニティ形成）。
- ・観光協会が解散したので新島に観光対策はいらない。イベントもいらない。
- ・観光客が天候悪い時に時間を有効に過ごせるアクティビティ施設も少なく、昔のように海で泳ぐ、サーフィンをする、温泉に入るだけでは客の満足度は薄いのではないだろうか。島としてリピーターになってもらえる魅力ある何かが必要である。個人経営の自動車会社がナンバー外したポロ車を観光客の目の止まるあちこちに投棄しているのも問題である。役場はそういった景観を損なう行為から、指導すべきだ。もっと島をきれいにしなくては観光に対する姿勢に疑問をおぼえる。
- ・新島の塩を使った特産品作り。牛乳せんべいの形を四角ではなく新島の形にする。
- ・新島の特産物を増やす為、くさや以外にもっと注目すべき。
商店以外でも個人に販売している所もあり、以外と人気商品もあるので注目しても良いと思う。
- ・今ある新島の自然を最大限に生かす。
- ・羽伏浦の道路をいつまでほったらかしにしているんですか。あんなみっともない姿を何年もさらけ出して観光業に力を入れてるとか。もっと村内の状況をよく見てみることです。無駄が多すぎます。村民の不満や不便を真っ先に解消すべきでは。

5. 商業の振興



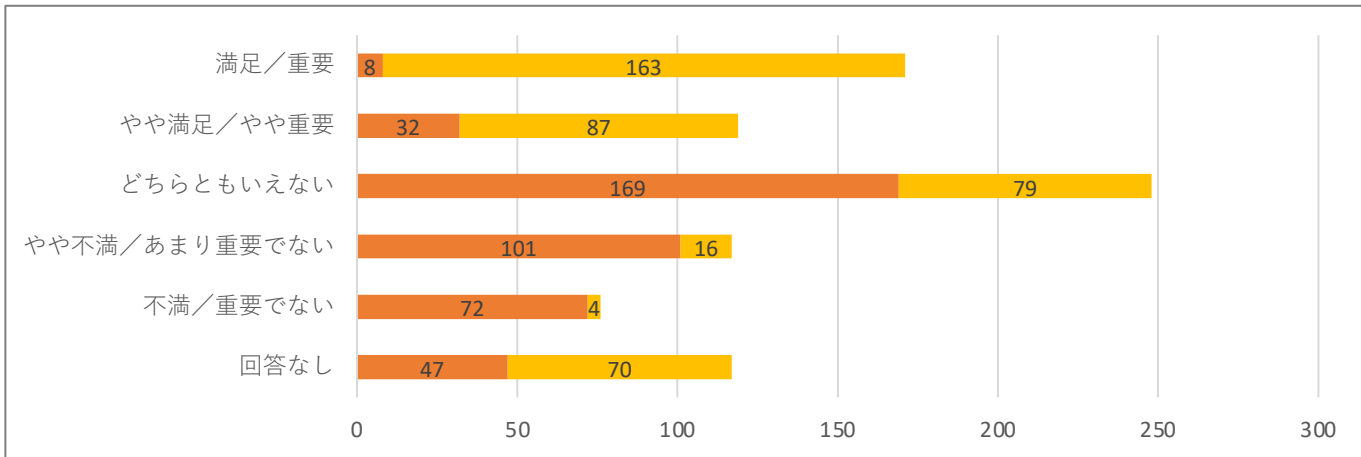
< 関連意見 >

- ・夜遅くまで開いている商店を作してほしい。
- ・新島独自の地場産業の育成、支援の重要性。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・移住者対策も必要だが、島から出た若者が帰って来て活躍できる職場や環境が必要なのではないのでしょうか？この島が嫌いで帰って来ない訳では無いと思うので。
- ・副業や開業をなるべく多くの人が選択肢として考えることができるような施策。
- ・企業を誘致する。仕事がないと子どもたちは帰ってこない。

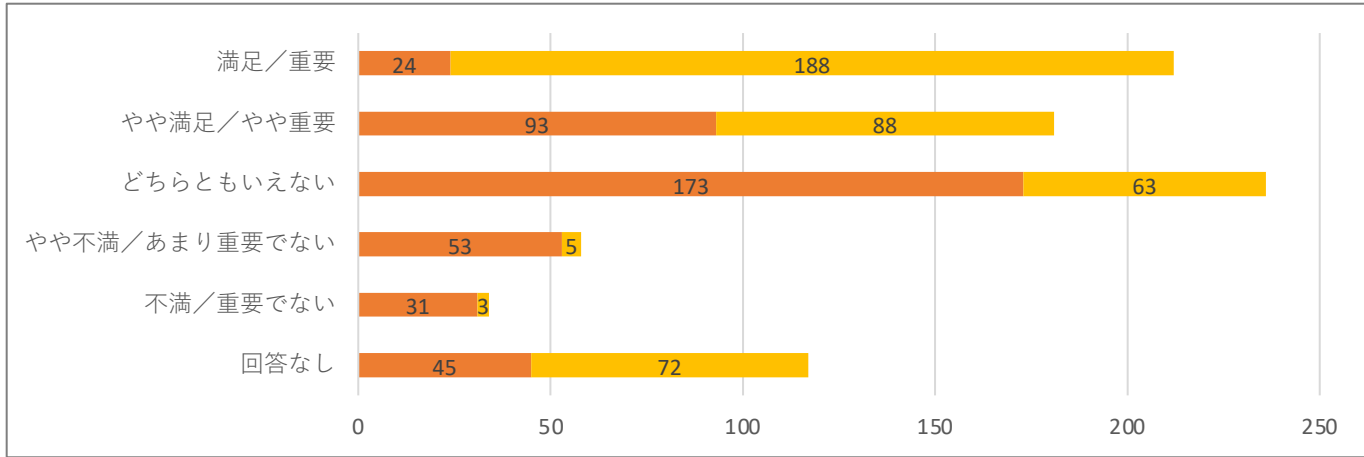
6. 移住・定住の促進



< 関連意見 >

- ・式根島では移住者を呼び込む施策が特に必要です。特に飲食店をしたい人を受け入れるための優遇やPRをする必要があると思います。島留学なども小中高すべての学校でもっと受け入れるべき。
- ・交流人口の推進及び定住人口の推進。
- ・ネット環境の整備、移住者の住居が大事。今現在、システムエンジニアの知人が新島での自然環境に魅力を感じ、仕事ははかどるし会議もzoomを利用して行えるので住民票を移そうかと考えている人がいます。SEとしての収入が大きいので住民税でかなり新島村に貢献できるとも考えているようです。またその仲間たちも多くいるようでこれからの新時代を見通した新島村づくりが考えられるかと思います。Uターンばかり考えるより、様々なニーズにあう人たちに手伝ってもらった方が人口増加を考えるには適しているように思います。
- ・他地域の特に若い世代が移住したくなるような支援、制度の導入をすることが明るい島の未来につながるように感じます。
- ・移住・定住者の増進。
- ・地域おこし協力隊のように若く新しい人材を島外から積極的に採用する。新しい人たちの「やりたいこと」「考え方」を最初から「以前はダメだったから」と否定せずに、どんどんチャレンジさせてあげるべき。
- ・地域おこし協力隊の活用（協力隊に専門職採用枠を当てる、協力隊インターンシップ制度で学生若者の島生活体験推進）。

7. 子ども・子育て支援



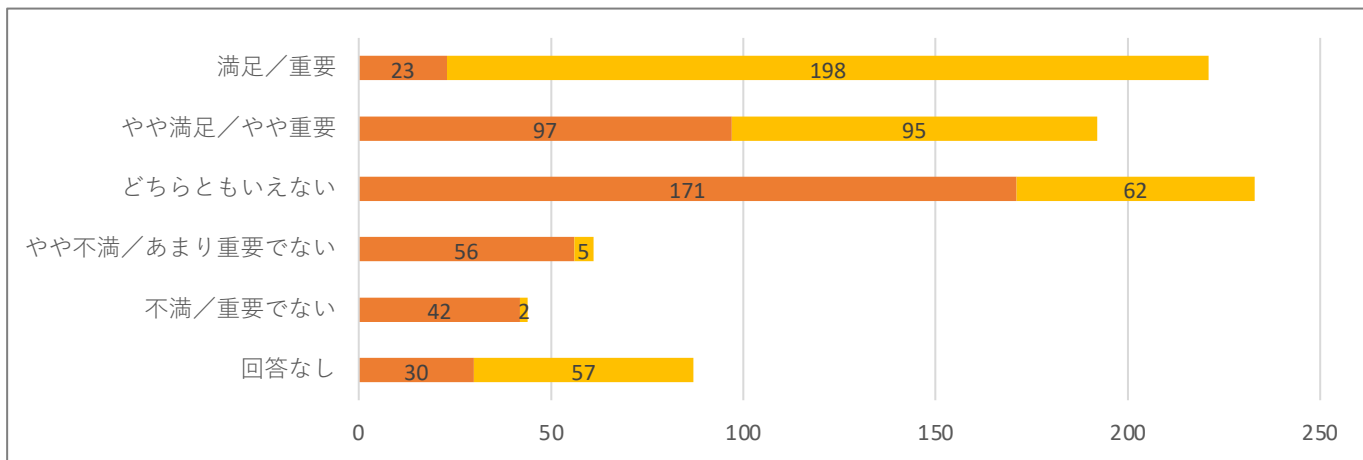
< 関連意見 >

- ・子育て世代なので、子育て関係に重点を置いています。ご了承ください。片親、子育て家庭としては放課後の居場所事業がない新島村は大変困っています。国や都も子ども放課後居場所事業を推進している現代、遅れていると言わざるをえません。伊豆諸島の中でもないのは御蔵島と新島だけとなっています。新島村は島しょの中でも高齢化率40%を超え、著しく高い状況です。これを支えるために若い世代の人口増を強化しないと光がないと思います。日本全体を見ても子どもの人口減少が著しいため、他の自治体との競争に勝つ力が必要です。片親だけではなく共働きも多い新島では、毎日の（週1、月1の子どもくらぶでは足りないのです）、放課後の環境充実は歓迎されるはずですが、少数だから・・・ではなく少数でも動く姿勢を見せて、子育て環境NO.1を謳えるムラになってほしい。図書環境も作ってほしい。神津島は図書館もあり、島で過ごせる学習支援もしている。新島にも作ったり、式根島にも開発総合センターにコーナーを作るなど充実してほしい。式根島には塾もなく、学校以外は家庭の責任になってしまっている。学習支援もあったらいいと思う。
- ・0歳児からの保育施設の整備が必要です。安心して子供を預けて働ける環境が必須である。移住、定住を促進するために住居は必要だが、島留学を小中学校まで掘り下げること、保育施設の充実をすることが必要である。
- ・新島に必要な資格取得を目指す学生への進学への奨学金、資格取得して新島で働く場合の返済一部免除するなどの制度で将来の人材の確保。
- ・農家も漁師も仕事だから税金でなにかしてあげる必要は無い。農協もいさば家も同じ。その分を子どもに回して大切にしてほしい。
- ・保育園の未満児受入や学童保育を充実させてほしい。
今後、島を支えていくのは若い世代であることは確かであるのに子どもの受入先がなく、新島村にとって必要とされる資格を所有しているのに、働けない状況になっている。
地域おこし協力隊の導入に異論はないが、島に住んでいて働きたい人達は多く、まずはその人達が働きやすい、住みやすい環境になるように、未満児を受け入れられる保育園の体制整備、学童保育の充実を図ってほしい。
若い働き手が働ける、働きやすい環境にぜひしてほしい。
国が掲げる異次元の少子化対策を、島でも反映してほしい。
これらが解決しない限り、移住者なんて増えないし、新島村出身者が子育てのために戻ってくるなんてことはないと思う。
- ・新しく将来の子どもたちの能力を発見できるようなスポーツエリア（風が強くてもできる）を作って、スポーツマン育てて、自分たちの力を見つけられたらと思っていますが、いかがでしょうか。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・ 保育園の待機児童0人を目指してほしい。
- ・ 子ども達が気軽にスポーツが出来るスペースが欲しい。例えば公園の中にバスケットゴールを設置したり、テニスの壁打ちができるようなスペースを作ったり。旧中学の校庭を有効活用して欲しい。サッカーができるようにゴールを設置したり。休みの日に小学生から高校生までが外で遊べるような物が村内のいい場所にない。
- ・ 子育て支援にもっと力をいれてほしい。子どもたちがこれからの新島を担うのだから、子育てしやすい環境をつくれれば、人口増加にもつながると思う。もっとお金をかけても良いと思う。
- ・ 冬期などの子どもたちの遊び場。

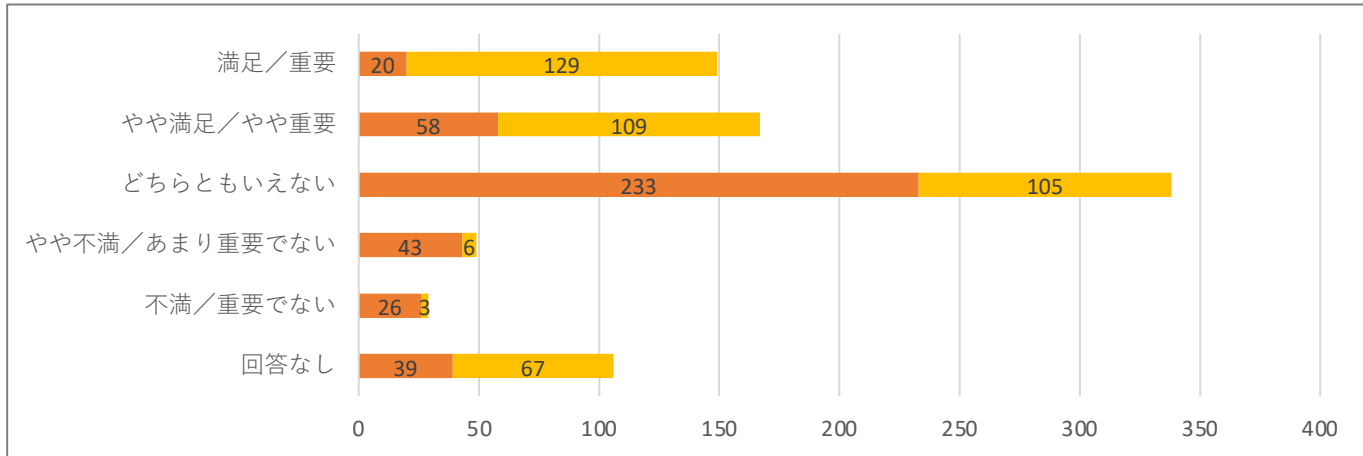
8. 介護・高齢者福祉



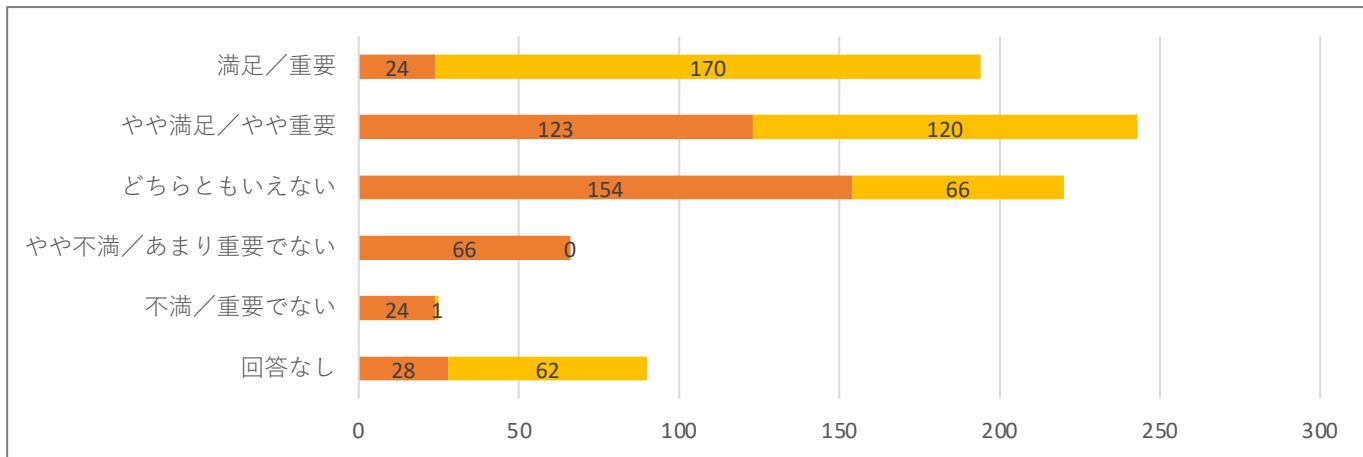
< 関連意見 >

- ・ 老人ホームを大きくし、老人の島新島にして、ホーム職員に多く働いてもらい、若者の仕事が役場だけではないようにしたい。
- ・ 老人ホームの人材不足。老人ホームの力ではどうにもできないところまできていると思う。役場も真剣に向き合ってほしい。老人ホームが自滅する前に手を出してあげてください。
- ・ 高齢者支援に関わる専門職を複数確保する必要あり。
- ・ 看護師・介護士確保体制の充実（村採用のみではなく、都派遣要請や企業などの若手人材研修派遣事業の活用など）。

9. 障害者福祉



10. 健康づくりと保険・医療体制



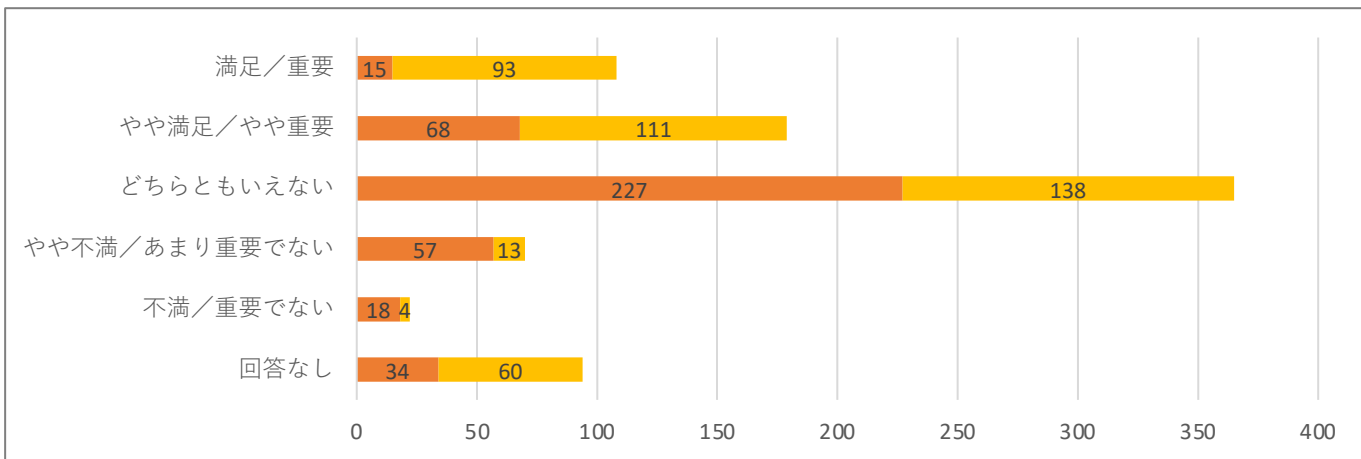
< 関連意見 >

- ・ 医療および医療体制の充実（レントゲンの精度向上）。
- ・ 今、新島ではデイサービスが行われていない状況を大変残念に思っている。高齢者が安心して暮らせることがその家族やまわりの人にとっての安心につながり、希望の持てる生活を実現できると思う。それが島の未来にとっても大切なことだと思う。
- ・ 教育や医療①役場職員中心とした再教育（勉強会）→教職員も！②新島村スローガン『大腸がん0』のような明確なスローガン③医療格差はしかたないが、柔軟な発想と考え方が必要。
- ・ 介護保険料が40歳から徴収されているが、介護保険サービスのメニューがないのは問題だ。デイサービスを8年も休止しているが、事業者が人材不足でサービス提供ができない場合は、行政が努力しなければならない。
- ・ 医療従事者のスキルアップ。

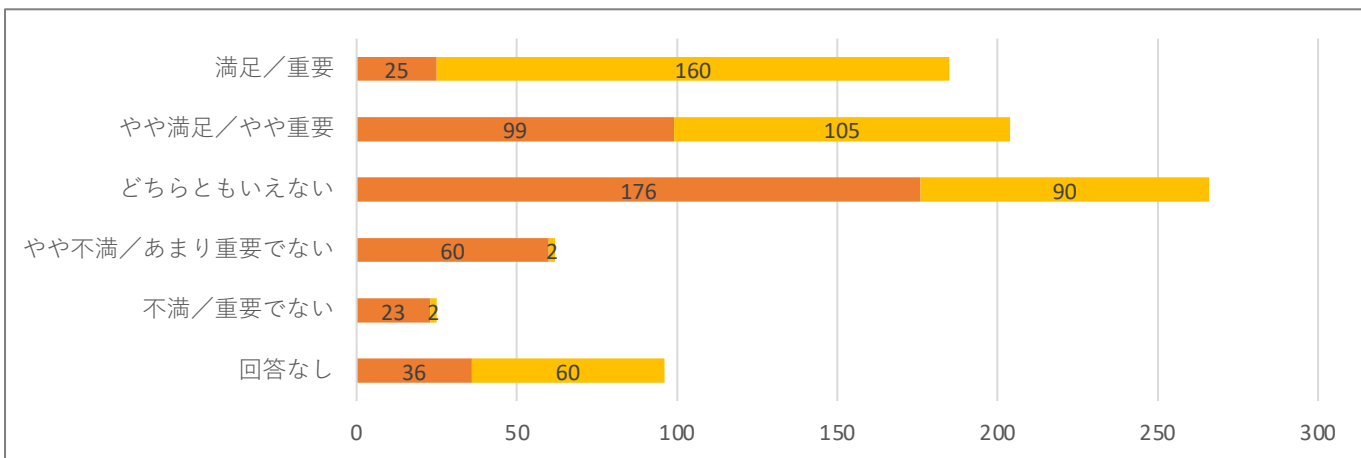
R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・専門医の受診の受け付け体制を見直してほしい。日曜日でも午後まで受診を確保して頂きたい。また産科・婦人科の受診がないのはなぜか。少子化問題、島民減少と嘆くなら女性に安心して出産出来るサポートをすべき。
- ・高齢化対策、人生100年時代を見据えた働き方、仕組みづくり、生きがい。
- ・健康づくり基本の室内プールの設置。
- ・住民の健康増進。

11. 地域福祉（誰もが参加できる社会づくり）



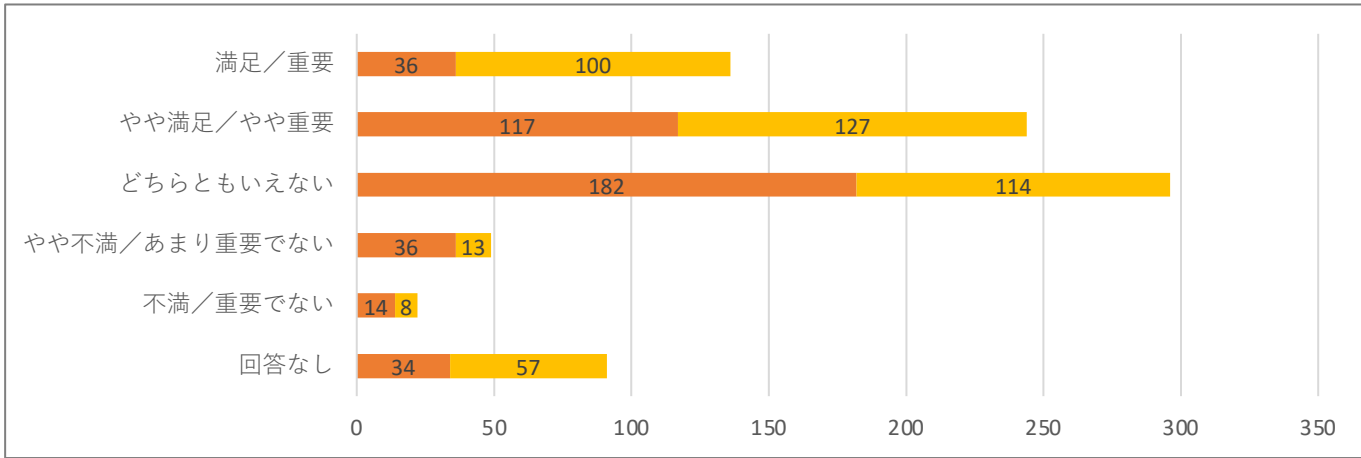
12. 防災・減災対策の推進（意識向上、計画策定、組織強化）



< 関連意見 >

- ・防災タワーを使った体力イベント、避難所での炊き出しなど防災や災害に備えた実用的な訓練は住民意識を向上できるのではないかと思います。
- ・18時20分に放送される防災無線の内容を新島村HPに掲載してほしい。

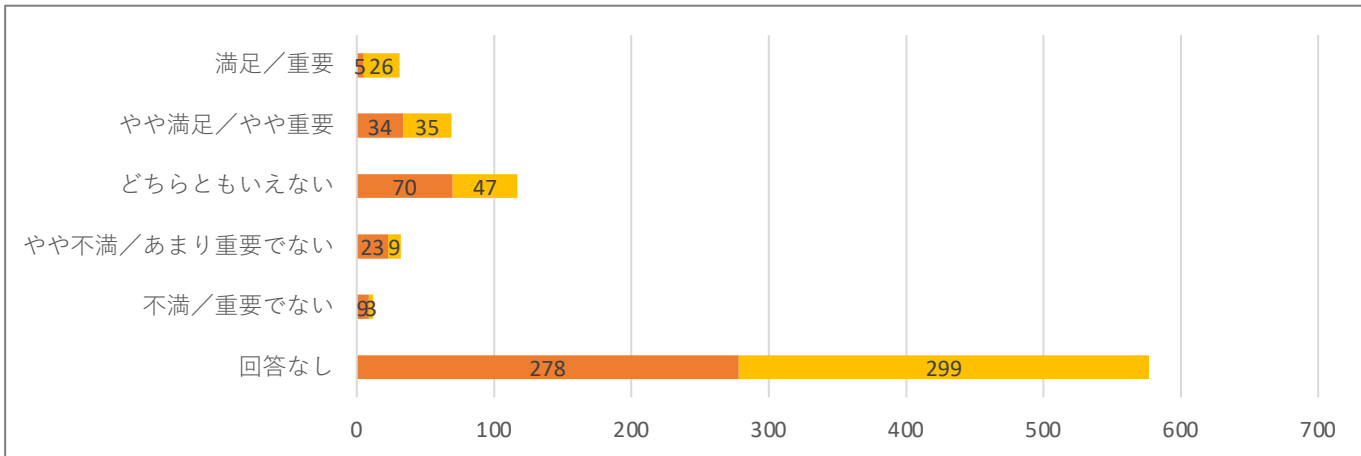
13. 防犯・交通安全対策



< 関連意見 >

- ・建て増し等で鍵のない箇所が多い家が気になります。鍵つけなどの支援をしてけると嬉しいです。

14. 地域コミュニティの活性化



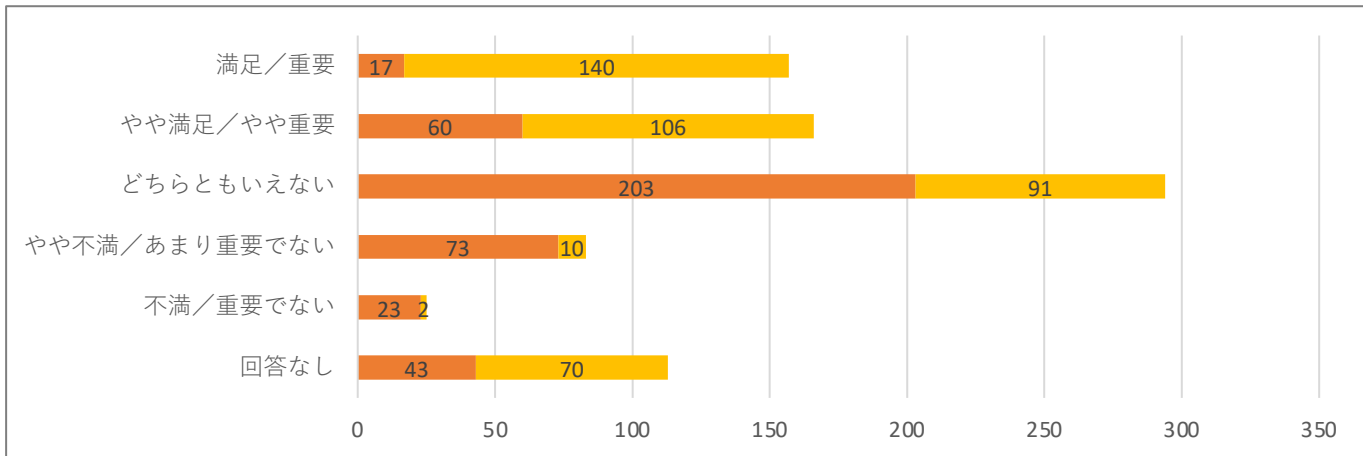
< 関連意見 >

- ・高齢者や子育て世代で社会とのつながりが薄く、外に出る機会の少ない人たちが集える、いつでも誰でも行ける場所づくりが必要。密な人間関係ではないサロンのな場所（カフェで1杯100円位のコーヒーやお茶を飲みながら過ごせる）や、時短で働ける場所づくりがあると良い。
- ・新島も例外なく高齢化が進んでいます。弱った高齢者に対するきめ細かい援助と働ける高齢者の活用を考えてください。「成人学級」を開いてほしい。若い人と高齢者の意見を融合させる場になります。月に一度でも気楽に話せる場を作ってください。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・ 村議の議員の人達や役場の人達への疑問や要望など村民と共に話し合える場が少なく、アンケートをとっていても、どうかされているのかわからない。村民には独り暮らしで足腰の不自由な人も多いので、センターなどへの集まりを持つてば良いというのではなく、個別に訪問して要望をきいていくくらいの前向きな姿勢がほしい。ただ、村内放送を流すだけではなく、本当に島のために村民のために大事な集まりなどを持つ場合などは、放送でも書面でも伝わるように伝達すべきではないか。公にはしていないが、実は困っている人はかなり多くいる。台風の時の雨戸を閉めることも困難なお年寄りも多い。子育ても大切かもしれないが、年配の人への配慮が足りないと思う。目や耳の不自由な老人もかなり多い。家族が島外にいて独りというケースも多い。
- ・ イベントの開催は必要（スポーツ、島民祭り）etc・・・コミュニティが広がる。
- ・ 高齢者の集う場所が必要。現在は社協で週一回実施しているようだが、行政としてもっと本格的に取り組んでほしい。以前、介護リーダーを中心に“おしゃべりサロン”を行っていたが、コロナで中止になった。この件については場所とスタッフが問題。行政として予算も組んでもっと積極的に取り組むべきだ。高齢者と集う場と子どもの遊び場を隣り合わせにすることもいいと思う。
- ・ みんなで作るという意味で、意見が気軽に言える機会があるといい。
- ・ もっとこういう意見交換とかできる場所をオンライン上で設けるべき(公式Instagramなどでアンケート取ったり)。それ専用の委員会？とかあってもいいんじゃないかなと思う。若い人はSNS中心だと思うし、年が上がったら公式HP見るわけでもない。
- ・ イベント（誰もが参加できるような）少ない。

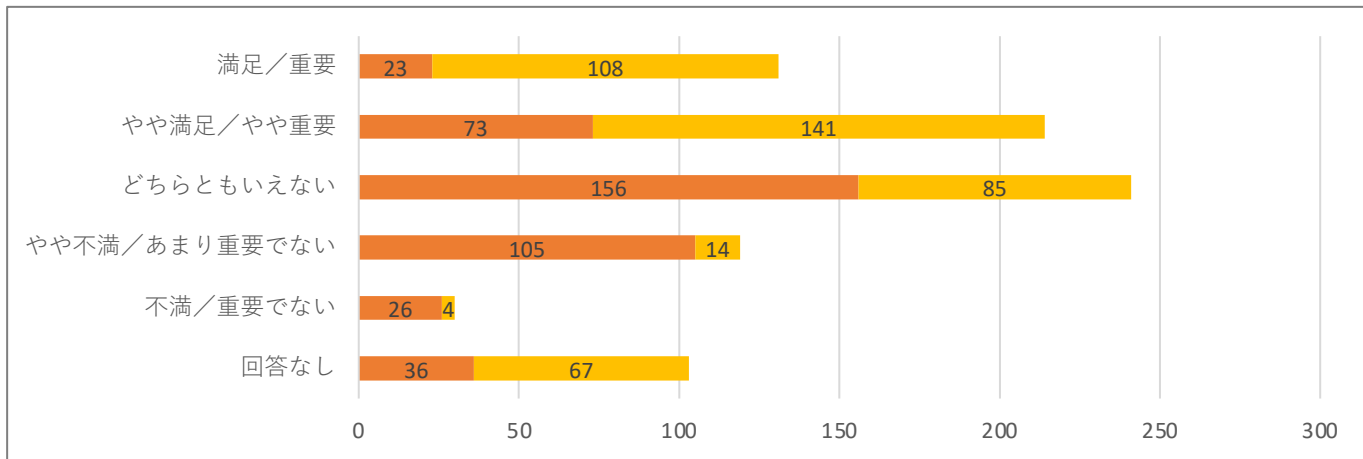
15. 村土の保全



< 関連意見 >

- ・ 地球温暖化の影響といわれますが、島も海岸線が年々削られていく様をみると恐怖を感じます。
- ・ 羽伏浦の侵食について、東京都に任せるのではなく新島村としてそろそろ真面目に考えるべきだと思う。

16. 緑化・修景美化の推進



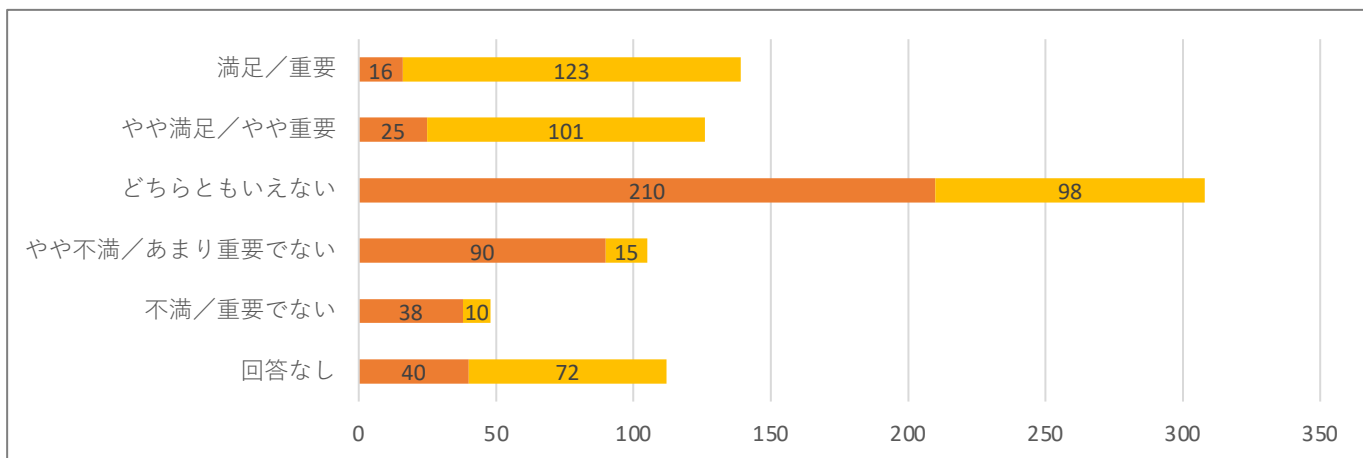
< 関連意見 >

- ・せっかくきれいな海なのに浜がきたなすぎる。
- ・羽伏浦のゲートをキレイにしたり、ウェブでの案内がより具体的なものになったりすると、より良いと思います。
- ・景観の良さに満足せず、より景観をよくするように努めることが必要では。大海を知る努力と改善する努力がもっとあって良いのでは。
- ・町の発展というスケールが大きくてアイデアもなく、町並みをせめてきれいと日々感じています。いつの間にかゴミゼロもなくなり、庭木の手入れもできずに道路にはみ出している木。村内の道路を車で走っているとつくづくきれいな町並みとは言えず、新島は手入れもされず汚いと感じます。年に一度のゴミゼロ運動を再開し、草木が道にはみ出さない様にしてほしいです。村内をきれいな島・・・新島にしてほしいです。
- ・5丁目の消防ポンプ置き場は廃車置き場になっているがあれでいいのか、近所迷惑だ。
- ・壊れそうな空き家が目立つ。危険だし景観も悪い。ゴミ集積場の工夫が必要（各置き場）。歩道の犬の糞が目立つ（個人の問題だが）。船上げ場付近のゴミが目立つ。サブロー浜付近の、錆びたガードレール、危険で汚らしい。目の前のきれいな海も台無し。早急に改善してほしい部分。
- ・村内をもっときれにしましょう。
- ・不法投棄が何年もそのままなのが残念です。
- ・各海岸の整備、絶対に必要。私たちの子どもの頃の浜、そこまでは言わないが、少しでもそれに近づける事ができればお客様がリピーターとして来てもらえる。少しずつでもいいので、是非、実現に向けて頑張ってもらいたい。
- ・村内一斉清掃で放送ではゴミ袋の支給と収集があると言っていたが、どちらもなかったので改善してほしいです。
- ・道路の住所看板の劣化が激しいです。
- ・シルバーの配布作業等で村内等を歩く機会が多い。壁のひび割れ等、危険な場所があります。普段歩くことが少ないと思うので、直接自分の足で歩いて自分の目で見るのが大切だと思います。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・新島村は漁業もだめだし農業も本土と比べたらだめだし観光でいくなら村の中に廃車があったり、昔の商売後の空き家があったり。村の観光課は村の中を歩いて見てほしい。村の中に緑が少ない、各家も緑が少ない、新島の人は屋敷に樅の木や 垣根を嫌う。ソテツも嫌う。一番風に強いのに嫌う。街路樹にはソテツが最高なのに、樅、ソテツを迷信にこだわりすぎる。これからも村の中に緑は多くならないと思う。役場の職員が新島の人だから。親から迷信の話を聞いているから・・・すべて迷信であり真実ではない。風に強い樅やソテツを増やしましょう。島の人は迷信にこだわるだけで良い木も植えない。
- ・島らしさが欠けていると思う。道路～美化を自然の美しさ（島の良さ）。これからの物（建物）づくりはよくよく考えてあまり作ることは心配です。
- ・観光新島とか言っているが、観光商品の1つ海が特に汚い。海の汚れが何年も続いているが、それについての努力が見られない。となりの神津島を見習ったほうが良い。
- ・村内の緑化、美化、全体の特色作り、整備された村内作り。道路に面した空地のある家へ花樹の苗を配り、ある程度管理しながらきれいな村内を作る。住んでいる人が幸せでなければ島外から来たいと思わないでしょう。
- ・羽伏のサイクリング道路をいつまでそのまましておくのか？
- ・浜は島の資源。夏季以外は汚い。年間通した対応をお願いしたい。
- ・四季折々に道路脇に花の咲く木を植えてほしい。羽伏の公園内に桜を植え、花の島をアピールする（桜と樅を植え花の公園にする）
- ・地球温暖化など人間が作り出した自然環境の破壊により、年々大型の台風が発生し恐怖を感じます。新島においても建物が増えていく一方、自然が削られ緑が少なくなっていると感じます。昔から西風の強い新島は木に守られてきたと思います（防風林）。台風や土砂災害に対応するためにも自然環境を守り、緑を増やす努力が必要だと思います。
- ・美しく豊かな自然に恵まれていながら、掃除が行き届いていないゴミ集積所や廃屋化した空き家等、観光地に相応しくない村内の景観が目につく。以前は各町会で地域の美化や清掃に協力していたが、近年何故かそういうコミュニティ活動が皆無になっている。あらためて、住民が地域の美化に自ら協力するような活動を復活させたい。"

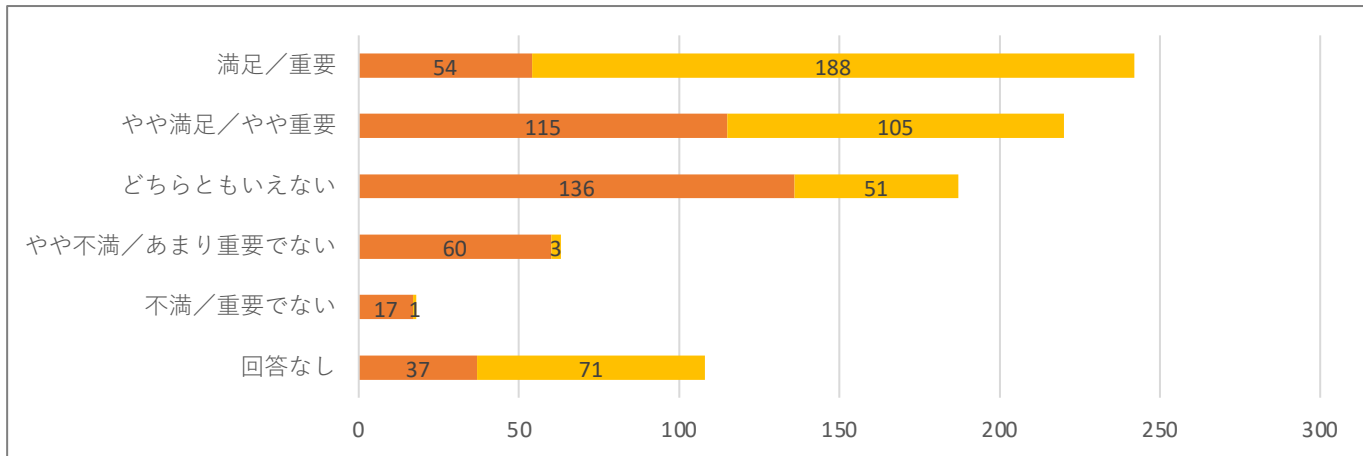
17. 地球温暖化防止と自然エネルギーの活用



< 関連意見 >

- ・温泉熱を利用した自然エネルギーの推進
- ・積極的な温暖化の抑止。コンポストの普及や太陽エネルギーの推進など。

18. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持と管理

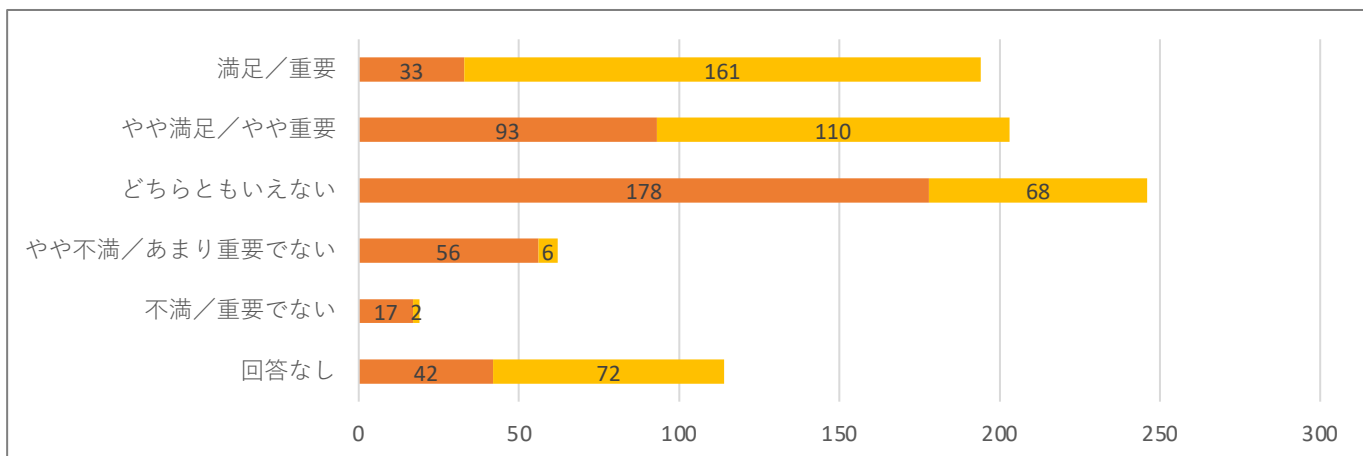


< 関連意見 >

- ・台風で飲み水が断たれた事実をもっと重大にとらえてほしい。井戸までの無電柱化による電源供給が出来ないならば全島電源遮断時の対策を喫緊の課題として講ずるべき。倒木対策に予算を充てるだけでも生存率は上がるが、すべての井戸とは言わずとも必要な分は電源の確保も併せて検討していただきたい。このまま放置すれば南海地震・津波後には広域災害になるため長期間にわたり援助は期待できず、発電所の被災により電源が遮断され、水源喪失により新島村の生命維持が難しくなることは明らかのため非常に不安です。水源井戸にはそれぞれ確実に電源を供給できる体制と井戸にたどり着けるよう管理道の整備（倒木対策）を確実に行ってほしい。すでに行っているならばその対策（具体的な防災計画）を広報してほしい。

そのような継続性を担保する考え方も含めて持続型社会であり、その姿勢のある行政を信じて民間は投資するので、現状把握された事実に基づき継続性を担保した計画を立てて不足分があるならば公開して課題解決を検討してもらいたい。特に金がないから問題を先送りしたり無かったことにするようなことになれば住民は継続性に疑問を抱き、この地に投資することができなくなる。行政の姿勢、判断は非常に重要です。その点を十分に理解したうえで計画を立案し、実行してほしいと思います。

19. 防災・減災対策の推進（拠点・関連施設の整備）

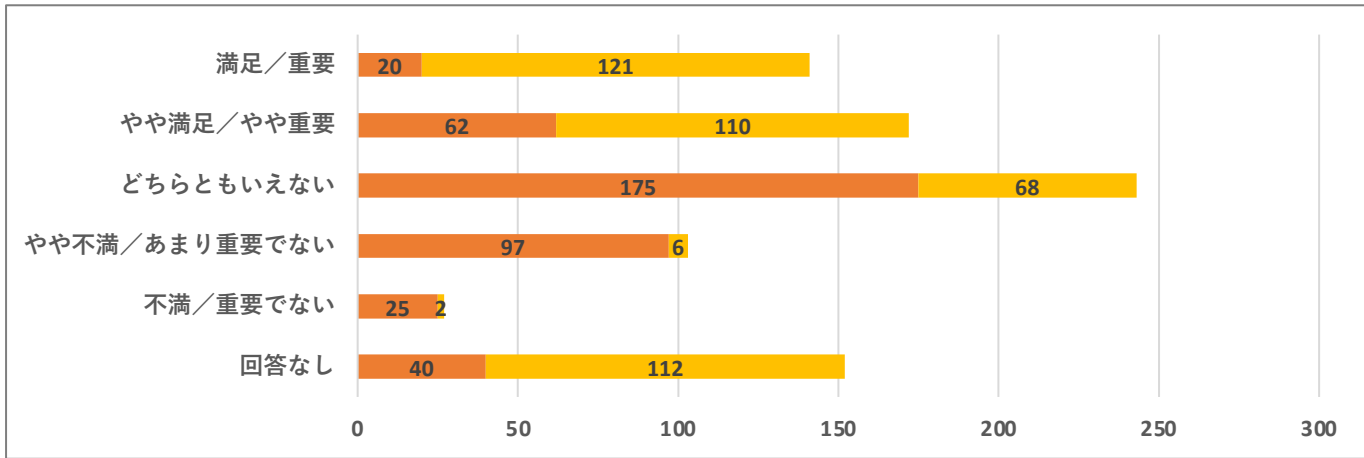


R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

< 関連意見 >

- ・無電柱化を検討してください。東海地震が来れば新島には十数分で津波が押し寄せるため、誰もが走って逃げなければなりません。このときに、倒れた電柱が生死の境目になるかもしれません。1人でも多くの命を守るためには、無電柱化は有効な施策です。

20. 住環境の整備と活用



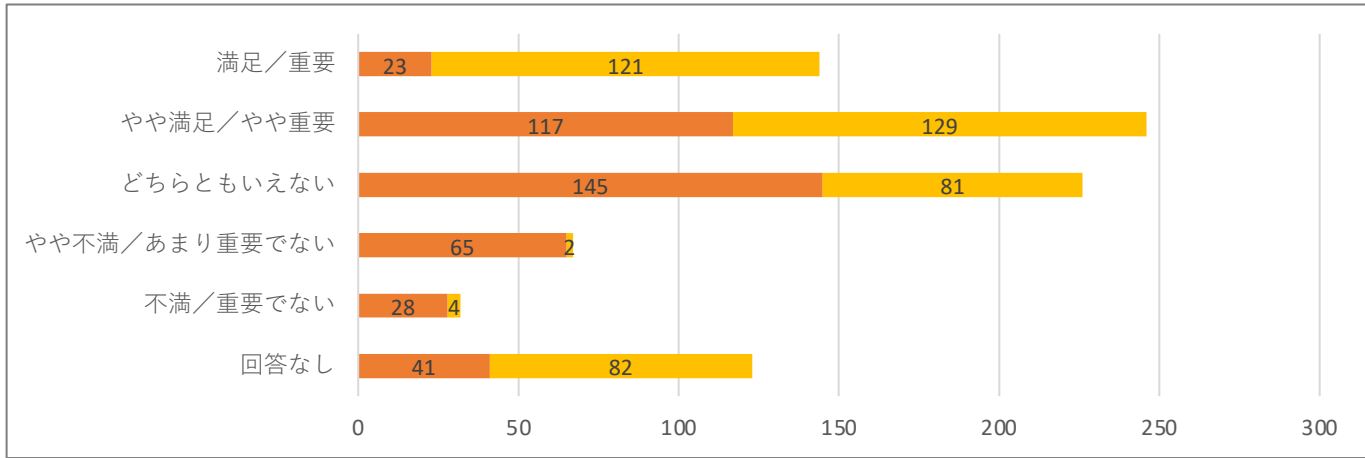
< 関連意見 >

- ・新島高校の学生寮を作ってほしいです。式根島の子も寮があれば行く子が増えると思います。
- ・東京都か村で単身者向けの1DKくらいの住宅を建設し、管理運営するのはどうですか？生活困窮者、高齢者向けの住宅ではなく単身者や若者が住むような部屋数少なくて安い家賃で住めるような住宅を作って新島村に住みたい人が住めるようにするのはどうでしょうか？
- ・空き家はあるが借りる事ができず、探している人が多い。村営住宅が高いので入りたくない。そのため移住したくても家がない。
- ・定住、村営住宅、6ヶ月は厳しい。
- ・移住者への住まいの為に使っていない家の賃貸。
- ・もっと島民以外の人の住める環境が必要。
- ・移住者用のアパートを村で建設してほしい。
- ・家を建てたくても土地が見つからない人が多いのもっと土地を貸したり売ったりして欲しい。家を建てたいけど土地がないなどは、住民にアンケートを取って調査したら沢山いると思う。戸建ての住宅を何棟も作って建て売りするとか。UターンやIターンで人口を増やさないとどんどん人手不足になっていく。
- ・観光客を増やしたり定住者を増やすためにまずはその土台として人の泊まれる場所や住める家を確保、整備したり、新島であることの意味を出すため新島ならではの漁業や農業を絶やさずに続けられる、増やしていける、それを使って新たな特産品を作ったり今ある特産品を絶やさず販売するなど、まち作りの基礎を安定して作り出せるようにしていけたら良いと思う。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・家の修繕費を補助してほしい。廃墟になるのが目に見えている。家を建てるのは公務員ばかり。
- ・移住に関して、民間事業者がアパート経営などに参入しやすいように土地や補助の確保と広報する施策。
- ・空き家を村が買い取り、村営住宅を充実させる。
- ・廃屋が目立つ。村の条例を整備し村で壊し更地にする。まだリフォーム可能な物件はリフォームし格安で貸す。10年住めば譲渡する（島外者に）。更地にした土地は村有地にする。※公示したうえで！！台風等で迷惑をかけるより良いと思う。
- ・島全体の建物の老朽化がとても気になります。修繕費を補助金でサポートしていただくなどの方法はないのでしょうか。移住したいのに、空き家がたくさんあるのに住める家がない、というのはとてももったいないと感じます・・・
- ・廃屋や人の住まなくなった土地を島外から移住したい人たちにもっと譲渡できたら良いと思います。土地を売ってほしい。
- ・廃屋を整備して月単位の賃貸事業立ち上げ
- ・空き家を減らす事。移住を増やす事。子どもを増やす事。住民もいないのに村民運動会を開いて一杯会や景品にお金を使うくらいなら、学校に本を買ったり、村の整備にお金をかけてほしい。運動会は子どもだけで十分。
- ・今は村内には亡くなられて空き家状態の家屋がたくさん見受けられる。村内に子どもがいても別に住居がある場合や親戚はいても子どもは島外に住んでいて年に1、2度来島等、廃店舗、住居が廃屋状況にある物件。近年、台風も大型化し、季節限らず災害の機会が多く、自身の努力も大切であるが、近隣、周りの環境もとても大事なことである。壊したくてもどうしたら良いかと悩んでいる方もいるようで、村としても防災、減災のためにもそういう窓口を提示し、災害に繋がらないようお願いしたい。
- ・全家庭への郵便ポストの設置をお願いします。
- ・だいぶ前にコーガ石を推奨したのに長年経過するとヒビが入ったり爆裂したりしても壊したいけど予算がなく、壊せない家が多くなるとありますが、何か良い考えはないでしょうか。このままだと崩れそうな家が増えると思います。例えば壊す予算の1/3を補助するとか？
- ・街中の空き家をどうにかしないと、移住したくても住居がなく諦める人が出てくるし、観光客の見た目や印象も非常に悪くなり、人口と観光客数は減る一方で、村は衰退の一途を辿ることとなる。早急に街中にある空き家をどうにかすべき。コーガ石で出来た古い空き家等は解体するにも費用が高いため、その費用を役所が補助するなどはどうか。
- ・空き家、空いている土地を有効活用し、賃貸物件を建てるとういことだと思います。
新島は実際に住んでみると多くの方が『ずっといたい』と感じる程魅力的な場所だと思います。リモートワークが普及して地方に人を呼び込むことがしやすい状況になっているので、まずは賃貸物件を多く用意して、気軽に移住できる環境が整うと人を呼び込めると思います。"
- ・空き家を活用する！
- ・村中には使われずに放置されている空き家が目立つが、それらは防犯・景観の観点からあまり好ましいとは言えない。「家」「家財」に執着する気持ちは理解できるが、普段は使っておらずいつ使うことになるかもわからない家のために固定資産税や維持費を支払うのは所有者にはかなり重荷になるはずである。
役場が空き家バンクへの登録を勧めたところで、空き家を所有していることが大きな負担になるという認識が住民の中にあまりない、（もしくは半ば意地になって目を背けている）現状ではなかなか空き家の利活用は進まないと思う。
空き家を持って余している住民に向けて、何らかの手段で空き家を持続していることのデメリット（税金面、法律面等）を伝える場を作りたい。
- ・老朽化した家や空き家問題を解決して欲しいです。若い人たちが住みやすい賃貸物件も必要かとおもいます。不動産業者や古民家再生業者を内地から招いて島の活性化をしてほしいと思います。
- ・古いコンクリート壁があるので、耐震対策が必要、道路を広くし、交通の円滑を図る。
- ・住環境の整備と老朽化住宅の対策を。

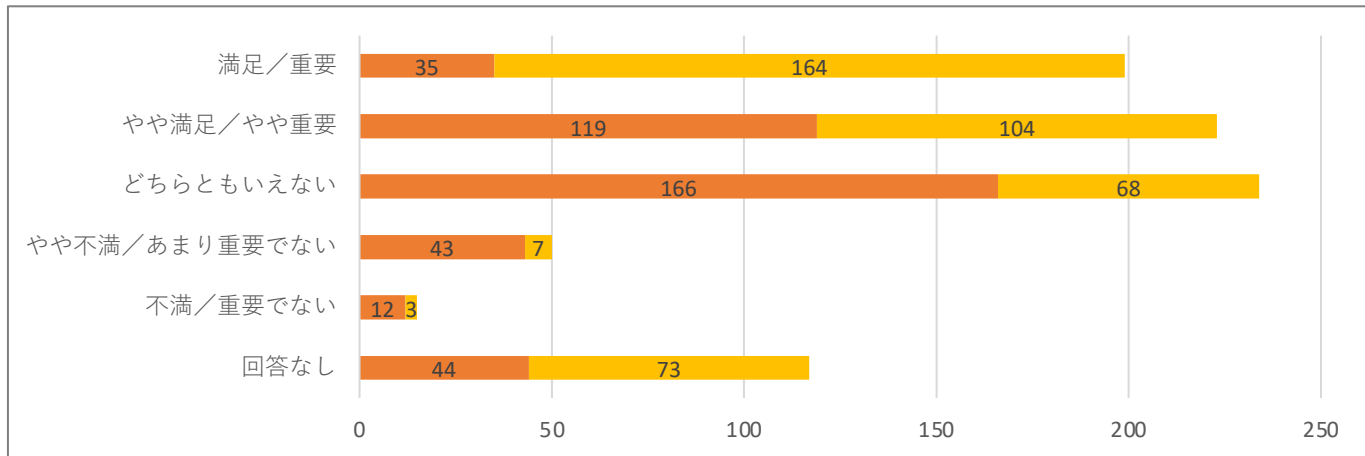
21. 漁港・空港の整備と活用



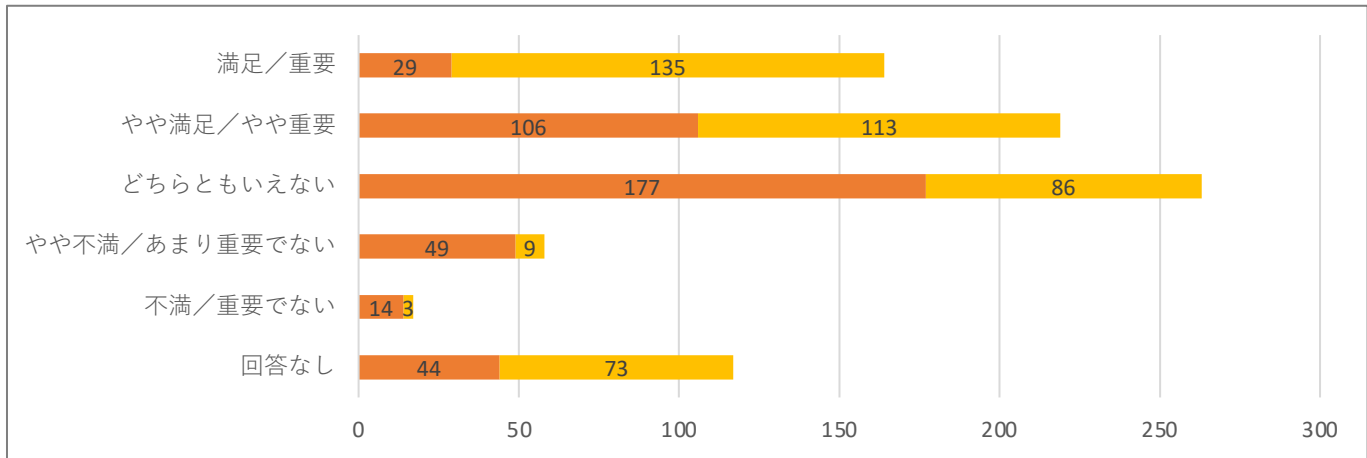
< 関連意見 >

- ・この島はとにかく船の欠航が多すぎます。欠航になることで食糧や物流がストップしてしまいます。このアンケートには物流のことが何も書かれていません。ネット社会になり、これからの新島村は物流サービスの維持がとても大切だと思います。

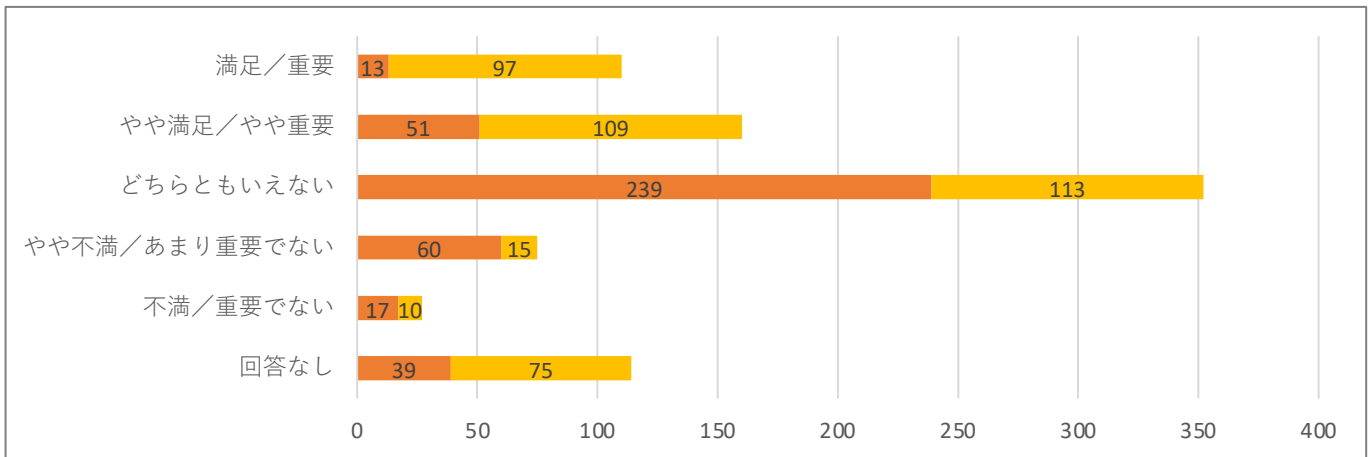
22. 学校教育環境の充実



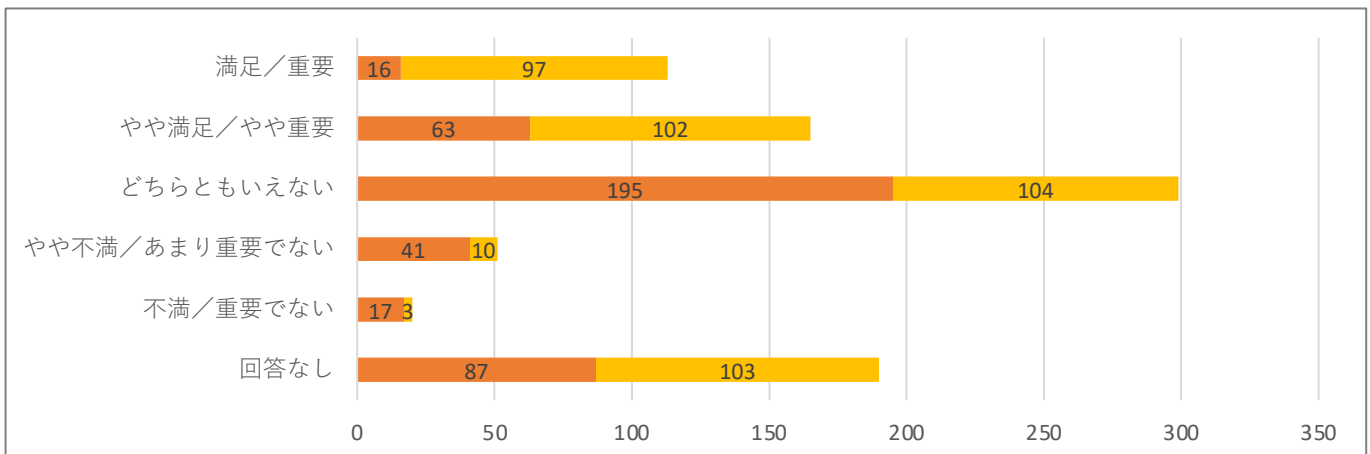
23. 地域教育環境の充実



24. 可能性・多様性を知る機会の創出



25. 郷土愛を育む機会の創出



村政に対する評価と今後への期待

新島村のむらづくりにへの自由意見（※前項までの関連意見除く）

<式根島>

- ・新島村が第一、式根島はその次のようにいつも取り残されるように思う。
式根島にもっと目を向けてほしいといつも不満に思っています。
- ・式根島へ図書館の建設。式根島に建設することで新島からも式根島に来る機会が増える。本の貸し出しだけでなく、老人や幼児子ども（小中高生）が、集える場所づくりや荒天時の観光客の居場所にもなる。
- ・温泉活用（雅、地鉈、足付）、適温の細かい説明必要。
- ・養殖場の活用（例、釣り体験）、魚の試食。
- ・式根島のことをもっと考えてほしいです。子育て支援に力を入れたら、もっと子どものいる家庭が住みやすく、魅力を感じて世帯での移住も増えるのかなと思います。具体的には0歳児保育や一時預かり、給食費や学用品無償、子育てサークル、遊び場の拡充など。
- ・式根島の下水道整備は、事業の必要性を見直してください。
- ・式根島には穏やかで綺麗な海があるのだから、小さな子がいる家庭にもっとPRして良いと思う。そのために海岸までの歩きやすさの確保や、乳幼児用の食べ物の販売、そして、さるびあ丸の2等和室の1室を小さい子連れ専用部屋に臨時設定するなどの工夫があると呼び込みやすく、将来大きくなったら観光にまた来島してくれる可能性をつくれるのではないだろうか。
- ・養殖場をどこかの大学と共同研究施設としお金をもらうこと。
10年後、20年後、式根島の小学校中学校を存続させようと考えていられる方がいるように思えない。
学校やライフラインがしっかりしていないところに移住定住は増えるはずがないので、そこからしっかりしてほしい。

<地域資源のさらなる活用>

- ・コーガ石の廃材の利用はあるか。廃棄するしかないのか。
- ・コーガ石の街並み、建造物を文化資源・歴史資源として活用(古民家宿や多目的スペース、ワーケーションスペース)。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

<移動手段の充実>

- ・交通対策改善（バスなど回数多くする、畑などに停車する）。
- ・観光に力を入れて人を呼びたいのは理解できるが、現状の村民の生活にもっと目を向けていただきたい。高齢者ドライバーの運転があまりにひどいので事故を起こす前に早期終了させてください。買い物、ドライブ等、気軽に頼めるシステムを用意する（今の社協では受けられない）。
- ・新島着最終便にあわせる感じで空港から連絡船乗り場までの巡回バスを走らせてくださいましてありがとうございます。ただ夏の時刻表だと4時過ぎに飛行機が到着するのでバスに間に合わないのです。なんとかありませんか？（今は連絡船にしきがなく代船なので東京から戻る時、欠航が心配で飛行機が怖くてジェット戦で戻るようにしていますが）にしきはいつ戻ってくるのでしょうか？代船の欠航率が高くて早く戻ってきてほしいです。
- ・バスの使用、港での観光客へ対しての配慮がとても低いと感じる（若郷へ行くバスに大きい荷物が乗せられないのなら、別で荷物を持っていけるようなトラックなどを観光案内所が出してもよいのでは）。
- ・黒根の棧橋を延ばしたのに高速船が若郷に発着するのをやめてほしい。バスに乗ると運転手に怒られる、怖い。
- ・タクシー、バスの本数を増やしてほしい
- ・にしきの運行便の増便を強く希望します。
- ・若郷着は宿の送迎負担が大きい。観光客も不便。黒根堤防で黒根着率は上がったのか知らないが、羽伏港は使えないのか？羽伏を訴求できるし、送迎負担は軽減する。高速船が白ママ近くを通るなど、観光面の効果として面白いかもと、ふと思いました。
- ・有料や予約制でもいいので、空港からにしきへ行く際の乗り継ぎ手段をなんとかしてください。行きのバスは大変助かっていますが、帰りはバスの時間が合わずに困っています。式根島の移住者の場合、新島に知人はおらず、迎えを頼める人もいません。長時間船に乗るのが難しい時、すぐ着く飛行機はかなり重宝します。なにか策を打つべきではないでしょうか？おそらく高齢者の方も大変かと思います。人口や移住者を増やすには、内地との風通しのよさも必要かと思います。切実に検討をお願いします。
- ・空港・漁港（新島へのアクセス）
- ・にしき券売機を設置してほしい。代船順位を飛行機の人を優先にしてほしい。夏からの、島外から仕事で来島する人も代船利用できないのは酷いと思います。また、チラシのみの報告で村内放送で周知しないのはなぜですか。周知努力してほしいです。

<ふるさと納税・企業版ふるさと納税の推進>

- ・ふるさと納税の返礼品として、島内宿泊施設の無料券を設定してみてはどうか（特に閑散期）。
- ・企業版ふるさと納税でコーガ石の街並みや伝統芸能の保存、継承を促進する。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

<人口政策>

- ・村の人口を増やす方法を考えてもらいたい。若い人が多くなって活気あふれる村作りをしてほしい。
- ・人口減少に歯止めを。新島に移住したい人をたくさん知っているが・・・
若者世代（産業人口）が増えれば、島は確実に活性化する（熱海の事例や他県で成功した島の事例により証明）。
- ・人口増化。
- ・全国的な問題ではあるが高齢化、人口減少問題を起点に全て計画していくべき。
- ・もっと人口が増えるように住宅（団地など）の整備をし、仕事も増やした方がいい。
- ・新島、式根島共人口の減少は歯止めがかからず現在に至っております。式根島に至っては、近い将来数十人しか存在しないと思います。大変な危機感を持っています。良い事はひとつもありません。現在で、各組織も多々ありますが、合併なり大きくし意識を高める、その最たるものが新島式根島をつなげる事であり、今が最後のチャンスだと思います。都、小池知事の在任中にきっかけの窓口をつくるべきです。新島式根島の生き残る道は、それしかないと思います。
- ・人口減少について 新島も年々生まれる子どもの数が減っていて、年に数人しか生まれないう年がここ何年も続いています。しかし、隣の神津島では子どもの数が多く、小学校も100名以上の児童がいると聞き驚きました。同じ伊豆諸島の島で、なぜこんなに子どもの数が違うか、考えることがあります。今の子ども世代にももっともっと新島の魅力を伝えていかないと、大人になって帰ってきたいと思えず、子どもの数も減少する一方です。人数の少ない学校で学校生活を送るよりも、都内の中学校、高校でたくさんの経験をさせてあげたい、と思う親世代も増えてきました。せっかく【海に拓く島】と、うたっているのですから、もっと海に関係する授業を増やすとか、他の地域に無いような特色作りは必要だと思います。また、ファミリー層の移住者が増えている自治体がどんなことをやっているのか、村の方でも調査して、真似できるところがあればどんどん実行して、移住者を増やして行くべきだと思います。若者がたくさんいないと島は発展していきません。
- ・行政、民間が連携して観光や移住、とにかく村の人口を増やすことに力を入れたほうが良い。それぞれが独立してバラバラにがんばっているが、連携していないので効果を余り感じない。また行政の一部や村の高齢の方は人が増えないで良いと思っている。現在、どの業種も人手不足なのに働き手がない。保育園に子どもを預けられず、高齢者施設もパンク、すでに限界に来ていると思う。このまま進むと人がいなくなって村の機能が果たせなくなる。
- ・人口減少の対策(移住定住、少子化など)を優先して欲しいです。
- ・子どもの数が少ないのは若い人が働く場所がないからで、何か考えた方がいいと思います。

<冠婚葬祭>

- ・高齢化になってきてきているので毎年亡くなる人が多くなっているが、その後のお返しは段々と派手になってきている。新島は、あそここの家がやったからうちも、というところがあるけど、香典のお返しはその家に任せれば良いというが、近頃は島にお金を落とさないで年々都会（島外）からのギフト化が多く、その家のためにしたことが無駄になっている。島の中でお金を回すようにしたほうが良いような気がする。わざわざ島のお金を島外に回すことはないと思う（これは暮らしを豊かにすることにつながるのだろうか）。村でするなどということは言われなくても、こういう意見があったということを知ってほしい。
- ・行政と直接の関係はないと思うが、葬儀に関連した弔問、参列等にやや無理があるのでは？と思わざるを得ない。1.仕事を休まざるを得ない場合が多い。2.参列の回数。3.葬儀香典の負担感。
- ・葬式を村営で取りまとめやってほしい。大変すぎる。
- ・葬祭業者も欲しいところです。お寺主導のお葬式ではなく、堅苦しくなく、お友だちを招いてのお別れの会のようなものでも良いのではないのでしょうか？
- ・葬儀社を誘致してほしいです。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

<その他>

- ・新島には農業、水産共に特色ある産物があり、美しい海をはじめとした観光資源もある。しかし、農業、水産、観光、商業がそれぞれで単体で努力している状況がみられる。他産業同士が協力できる機会を作る事で、今までにない新たな取組みが新島で産まれるのではないかと感じる。農業、水産、観光、商業が協力する事でそれぞれの産業がさらなる発展を遂げる可能性が十分ある様に感じる。ぜひ産業同士の横のつながりが強い地域を村が中心となり、創り上げてもらいたい。"
- ・内地の小中学校と姉妹関係を結び林間学校や遠足に来てもらう機会を増やす。
- ・全てのことについて住民の意識が低下している。農業にしても漁業にしても観光業にしても、無関心が多い。自分たちの住む新島、みんなでなんとかしようとする気配が薄れている。新島村の発展や村民の暮らしを豊かにするのは行政ではない。そこに住む一人一人の住民の意識だ。
- ・特に建設業、有給休暇がないのがおかしい。公務員には伝わらない苦勞（経済的）がある。村の建設業協会で話合っしてほしい。長く住みたいと思わない。子どもに島に戻ってこいと言えない。島で世帯を持てと言えない。トライアスロンなどは中止にならず、村体や祭りが無くなるのはおかしい。トライアスロンのボランティア、なぜ無償なのに役場人は代休が発生するのか。遠泳大会に役場人がボランティアに来てほしい。
- ・新島～式根島間を海底トンネルでつなげる。伊豆七島を海底トンネルで本州とつなげる。
- ・莫大な公共投資をして漁港や農道を整備していますが、生産高は減少しています。今後、投資を続けたとしても周囲の環境や条件から増加するとは考えられない。公共事業により一定の雇用が生まれることは理解できますが、展望があるわけではありません。ここは発想の転換が必要だと思われます。例えば水素社会の到来を見据えて、西風を利用した風力発電で海水を電気分解して水素を作るとか、今後、日本で長期休暇を取得する文化が普及すると思われます。その受け皿として、長期滞在型の用地の提供だとか、いずれもどこの自治体も考えることだからサバイバルゲームに勝つのは容易ではないけれど。
- ・方言ですが島の宝だと思っています。家庭でのこの新島弁、どういう意味と、よく会話に出てきます。方言で、強調する箇所、茶化す箇所と大変おもしろく、家族で大笑いします。現在のお嫁さんたちは島外者が多く、親もわからなければ子もわからない状態、こうなったら方言講座を開いてみたらどうでしょう。古の島の文化が見えてくるかもしれませんよ。コロナになって人間の命に対する重さを強く感じると共に人間の弱さ（ストレス、人間関係）も強く感じますね。
- ・世界の新島にしていきましょう。微力ながら協力させていただきます。総合的にもこんなに素敵な島は他にはありません。日本の人はもとより、世界の人々が来島して幸せを感じる島にしていきたい。みんなで力を合わせれば「できる」と信じています。
- ・発展ももちろん重要な事だと思いますが、発展していかなくてはいけない理由を住民の皆がわかるような取り組みも大事だと思います。例えば衰退した時に何が起きて、自治体としてどうなってしまうかなどの、バッドエンディングの共有とか、どこか他人事で止まってしまっていると感じる。
- ・若い世代が住みやすい環境作り。
- ・余計な村内放送やチャイムの廃止、神津島のように重要なことはテレビ放送で共有するなど。
- ・地元出身の人と、移住してきた人を「島の人」「国の人」と区別する言い方をやめてください。島に住んでいる人は全て「島の人」のほうです。
- ・若い人の働く場所、住居の提供。
- ・コンクリート護岸から砂浜の保全回復へのシフト。
- ・仲間に甘く他人に厳しいから、嫌気が差した仕事のできる仲間は戻ってこない。戻って来ててもすぐ出ていってしまう。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・学校施設の建替え、従来のハコ物にこだわらず、地域コミュニティ、防災の拠点作りを取り入れてほしい。
- ・chatGPT AIを使った島づくり。
- ・村道など整備し、走りやすい道路にし、観光客を呼べるようにすると良いと思います。
- ・自分としてはアイデアは思いつかないが新島のこれをといた他には負けないものがあると思う。
- ・船、ドルニエ、更に島民割引してほしい。病院に通うなど、割引の年齢を下げしてほしい。
- ・停泊料を村外からはもう少し高く設定してもいいと思う。
- ・心休まる新島の自然に囲まれて、平和的、何事もないかのように静かに、静かに過ごす日々、時期は変化なく流れて行っていますね。誰か、何か、自分の為ではなく新島の為、村民の為に立ち上がり、行動に移していく人いないでしょうか？役場は新島の玄関窓口、笑顔と元気の対応で村民の対応をしておりますか？新島としてのインパクトもなく、自分の安全のみ？地位だけ？守っていつているようにみられます。この数年のコロナの拡大のせいでしょうか？神津島の勢い少しほしいですね。昔は島おこしに自分たちで立ち上げ、島民の為に身体も心も動いていました。若い人、村会議員の人、安全牌だけではさびしいですね。言葉だけではなく即行動が問われるのでは？期待はずれでしょうか？例えば新島の歴史が綴られている博物館。眠ったままですね島外に宣伝して新島の歴史知ってほしいですね。宮塚山までの山道ちょっと工夫してハイキングコースに手を加えてみたらいかがですか？富士見峠から見下ろす新島の景色は絶景ですね。新島独自の思い出を島外の人たちに持っていつてもらいたいものですね。お年寄りも子どもたちも新島を訪れる自慢の島にしたいですね。立ち上がってください。若い人の心、育ててくださいね。議員さん頑張ってください。自分の地位は島民の心と共にそこから生まれてきますよ。自分の為ではなく、人の為に行動を起こしてください。
- ・ハローワークが無いから、それに変わるような場所（例えばきんぷく）で求人広告の掲示。
- ・新島村で子どもを育てながら働くことができる環境作り、高齢者が介護が必要になったらいつでも介護を受けられる体制作り、大切だと思います。将来の新島村の人材育成のためにも保育士、介護福祉士、看護師等養成機関進学者へ奨学金制度があれば新島村の福祉保険の向上につながるかもしれません。
- ・「貧困を無くそう」とあるが早急な対応が必要な人もいないか。把握しているか？
- ・すべてにおいて危機感がない。
- ・旧新島トンネルの活用。本村、若郷間の自転車、徒歩で行き来できるようにし、阿土山林道も観光に向けて整備する。現状でも一部、観光客は旧トンネルに入りこんでいる。
- ・内外の若者の選択肢の中に新島があること。
- ・ボロ栈橋の再建。
- ・各項目のどれもが重要であると思うが、何をどこから始めて結果的にここに自分繋がっていく。というロードマップや指針のようなものを住民一人一人が理解していく必要があると思う。
住民一人一人が課題についての解像度を高めるにはどうしたら良いのか皆で考えたい。
また、生活していて感じるのは、住民の行政への依存率が高いように思う。(特に式根島)行政の仕事、民間の仕事、という棲み分けも必要であると思う。うまくいかないことを何もかも行政にぶつければ良いと思っているので、そればかりを受けては行政職員もやる気が出ないと思う。そうなってしまった要因は行政側にもあるのかもしれないが、今一度、そこも含めた全体の意識改革のチャンスだと思う。
- ・埋め立てゴミ最終処分場を上手に使うって村営のリサイクルショップを作ってみる。
- ・本村外地区のゴミ捨て場増設。
- ・PTA廃止してください。
毎日忙しい。仕事を休んで参加せざるを得ない時もある。貴重な休みを取られる時もある。PTAがないとダメなことは無いと思う。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・質問にはなかったが、新島に住むということは、人間関係は難しいと思う。同級生の会は素晴らしいが、外から来た人が入りにくい。噂がすごい。外から来た方々に本当に優しいんだろうか。あと子どものいじめ、大人のいじめ、以前聞いたが今はどうなんだろう。気になる。
- ・条例でも良いのでネコの飼い方（例、家の中でネコの居場所をつくり、必ず首輪（飼い主名入りの着用する等）を作る。ノラネコにエサをやる方はその人が飼い主となり責任があることを明示する。
- ・ネコ、カラスに餌をあげてる人が居るようです。島内が汚くなるし、かわいそうな動物を増やすことになるので『年寄りだからしょうがない』で済ますのはどうかと思う。動物愛護とはまた別問題だと思う。"
- ・これは関係ないことかもしれませんが、犬については散歩やマナー等、民生課から言われていますが、ネコについてはどうでしょう。家ではネコは飼っていないと言っている家があります。近所ではネコ糞等で迷惑しています。エサをあげている以上、飼っているのと同じだと思います。1匹2匹ではなく、10何匹飼っている家もあります。車で通りかかっても道路で寝たりしています。できれば注意してほしいです。比村の方です。

<このアンケートについて>

- ・このアンケートについてですが質問は多くなく適切ですが、設問10は選択が多すぎる。答えやすいだろうと多くしたと思うが、高齢化率の高い新島の方々にとっては答えにくくなったかも。
- ・今後の島づくりに貢献してゆく為のアンケートとしては、シーズン直前（突入）はいかがなものでしょうか？今後このようなアンケートを取る場合はゆとりのあるオフシーズンが望ましいのではないのでしょうか？お考えを。
- ・回答の記入がよく理解できないところが多かったので、記入していない所が多くなってすみません。

<役場>

- ・村はすべて自己満足している。
- ・役場の職員はタテのつながりだけでなくヨコのつながりも大事なことです。上司はもっと強くなり部下にハッパをかけてうまく使うべきです。時代の流れなのか・・・近頃の若者はわがまま勝手の人が多い気がしてならない・・・
- ・補助金の有効活用（村に対しての要望）。
- ・村に要望をしても財源がないといって断られています。前向きに取り組む姿勢が感じられません。住民のために実践する行政を希望します。
- ・アイデアとは思っていませんが、物事は一度で出来ること、出来ないことがあります。項目により順位を決め、少しでも対応出来るよう実行しなければ解決していかないことが多くあると思います。住民の意見を考慮し住民の応援得られ対処していくことが村の発展につながると思います。人々の生活、考えを大切に少しずつ向上を得られるよう、考えていただきたいと思っています。住民の努力なくして島の良き向上はないと思います。良き計らいをお願いいたします。何事もあきらめないでください。
- ・意見、提案しても予算がないで終わる。村民の暮らしを豊かにするのが行政の仕事である。
- ・総合計画は、半期あるいは年度ごとにローリングしていると思うが、ハード面を除くと改善手法や改善内容が見えてこない。年度毎に、計画達成に向けての方策を講ずるべし。総合計画を村職員が共有しているように思えない。担当部署や幹部職員に止まらず、全職員が共有すべし。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・相談や要望に対し、規定や規則、担当者の不在等を頭から出して住民に接する職員がいるようである。全体の奉仕者としては、常に住民に寄り添う気持ちを持って接することが肝要。それが、職員の評価や村の評価に繋がると思う。忙しいとは思いますが、これを怠ると、いかに実務が出来ても評価は半減する。人間、究極的には個（私）を最優先する。昭和人の私から見ると、近年は益々この傾向が強く、全体のこと（公）となると、我関せず、他人事と考えているように見える。地域の行事・組織への不参加、役職就任の忌避、etc.このままでは、コミュニティが維持できなくなる。狭い地域で、常に衆人環視のもとにある村職員は、それだけに村のパイロットとして手本となる言動を示して頂きたい。辛く、俸給に見合わないかも知れないが、そこは地域のため。住民のための高い志を持って、ご努力いただきたい。
- ・新島の伝統芸能や島内での文化活動について、もっと村としてバックバックする（資金面や活動場所等）ことを願いたい。各種活動があり、すべて平等にすることは無理なので各種団体の活動実績や活動年数等、芸能文化は継続されることが大事であるので、村として支援する基準にはどうでしょうか。
- ・役場職員のやる気まんまん！！の意志を見せてほしい。皆でおそろいのTシャツを着るなど（メッセージ入）。
- ・すぐやる課を作ってください。
- ・グランドホテルを村で買い取って経営する。資金の一部は希望する村民から“一口株主”のように少しずつ募り、出資額に応じて配当金を出す。
- ・若郷在住です。前浜海岸津波対策ができて見ました。村民はガッカリしています。年寄り、足の悪い人は、海、浜にも降りられないですよ。もう少しやり方ないものですかね。海の見えない海岸ですよ。
- ・ガラスアート、特にまました温泉（砂風呂）、博物館、きんぷく、他、もろもろ職員がマンネリ化していてダメ。役場職員が時々見回りに行くべき。
- ・役場職員の間人ドックについて役場職員が良いホテルに宿泊して、人間ドックを受けているのをSNSで見かけます。宿泊バックになっているのかと推測しますが、公務員だから税金を使って安い金額で人間ドックを受けられていて、そうでない人たちは高いお金を払って受けています。そういう自覚を持って、せめてSNSにあげないとかするべきです。また、そのような時こそ島嶼会館を使うべきではないでしょうか。
- ・役場は本当の村民の声を聞かずに、少数派の仲間の意見ばかり聞いている。
- ・これは町づくりとは関係ない事ですが、役場職員が勤務時間帯に携帯を堂々といじっているのはどうかと思う。仕事の案件なのかもしれないが、その勤務態度を管理職の人はきちんと見ているのか、人事評価はしっかりされているのか。年功序列でいいのか。
- ・役場主導型の環境は改善すべき！
住民主導型にしないとまちづくりは良くなりません。
- ・役場の建物の老朽化もとても気になります。窓口には色褪せたポスターが貼ってあり、全体的に活気がないように見えてしまいます。古いなりに修繕をしたり、きれいなものを飾ったりして、もう少し明るい雰囲気になってくださるといいなと思います。
- ・村営住宅の規定に関する改善等。
- ・村のイベントは減らしてください。
村民体育大会は特にいらぬ。島民祭りも重要ではない。他にお金を使うべきところはたくさんあると思う。
- ・婦人会や消防団がなくても村が回るようなシステムをお願いします
新島は好きだけどコミュニティ活動が嫌。
若い世代は特に集まって何かしたい人は少ないと思う。
- ・頭ごなしに、あれができない、これができないが多い気がする。「出来ない」のではなく、「実行するにはどうすべきか、別のアプローチでどこまで出来るのか」というスタンスで考えるべき。
島民の村を良くしたいというモチベーション、足並みを揃える必要がある気がする。その為にも、もっと役場と各所との一致団結感が欲しい。
役場「管理職」に、島外の人やマネジメント専門の人を入れて、考え方ややり方について、外の空気(意見)を入れた方がいいと思う。

R5.新島村のむらづくりに関するアンケート調査報告書

- ・ 役場と学生の交流機会を増やす。
 - 高校生以下「子ども」世代及び20代の役場、新島の行政や事業などについての理解が乏しい。
 - 島内にいる子どもや20代の島民や元島民が役場や新島について知っていることで、将来のUターンや島外での新島を宣伝、新たな活動の誕生、郷土愛の育むのに影響する。
 - 役場内の女性の少なさ、年功序列といった役場内の改善すべき点について子どもと関わることで発見、確認する機会になる。
- ・ もっと議会や役場が何をしているかわかるようにしてほしい。議会を生中継するとか。
- ・ 勤労福祉会館のボウリング場の利用者が少ないと聞いています。かなり広いスペースなので他のことに有効利用したらいいかがですか。
- ・ 近年の海洋ゴミ漂着物について、島の人たちや関係者が積極的に拾う活動が見受けられます。しかしその後の処理も含めて、広大な浜や何度もやってくる台風などもありボランティアでの活動の限界も。そこで公共事業として引率式のビーチクリーナー（重機）を取り入れて、継続的な事業にしてみるのはいかがでしょうか？観光産業の視点からも、綺麗な海と浜はセットであることが価値であり、年間に10トン以上も漂着する調査結果を踏まえれば、人手による清掃は限界です。ぜひご検討いただけと幸いです。
<https://www.morita-technos.com/other/other/beachcleaner.html>
http://fujisada.com/facility/beach_cleaner/
- ・ 行政に関わる方々はまずは意見や要望などに聞く耳を持って、柔軟に融通を効かせるなど、今の時代に合った臨機応変な対応をしていただけたらよいかと思います。

以上

<<設問9について>>

設問9では、全25項目について、満足度・重要度についてたずねた。また「新島村のむらづくりにについてご意見をお聞かせください」から、設問項目に紐づく意見を「関連意見」としてまとめた。

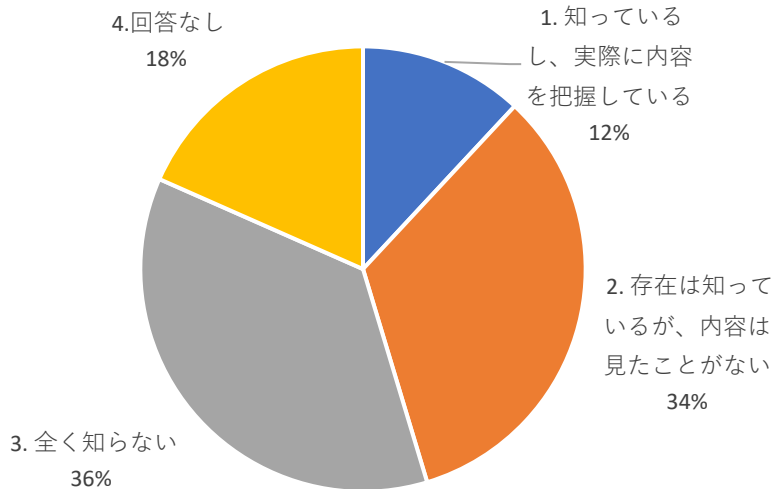
多くの項目で、満足度が低く、重要度が高い傾向があるが、中でも「1. 農業・漁業の振興」、「3. 次世代産業の創出」「4. 観光の振興」、「6. 移住・定住の促進」などは、満足度が低く、重要度が高いと読み取ることができる。これは設問10の「重視すべきポイント」で選ばれている項目と類似していて、意見が多いことも印象的であった。

「1. 農業・漁業の振興」（重要：166名、やや重要：111名）、「4. 観光の振興」（重要：189名、やや重要：93名）、「7. 子ども・子育て支援」（重要188：名、やや重要：88名）、「8. 介護・高齢者福祉」（重要：198名、やや重要：95名）、「10. 健康づくりと保険・医療体制」（重要170：名、やや重要：120名）、「18. ライフライン（電気・水道・ガスなど）の維持と管理」（重要：188名、やや重要：105名）、「19. 防災・減災対策の推進（拠点・関連施設の整備）」（重要：161名、やや重要：110名）などは、多くの住民が重要と考えている。

満足度・重要度ともに「どちらともいえない」が多くを占めるが、各項目に関連する事業が紐づくことで、より回答がしやすくなると考えられる。本アンケートですべての事業の説明をすることはできないが、傾向を把握するうえで参考となる。

村政に対する評価と今後への期待

<設問12> 『新島村第3次総合計画』についてご存知ですか？



項目	回答数
1. 知っているし、実際に内容を把握している	50
2. 存在は知っているが、内容は見たことがない	140
3. 全く知らない	152
4. 回答なし	77

<<設問12について>>

「2. 存在は知っているが、内容は見たことがない」（140名/34%）、「3. 全く知らない」（152名/36%）と、70%の住民が内容を把握していなかった。

「今回のアンケートは村民のみなさまの声を伺い、『新島村第3次総合計画』に基づいた実施事業の評価、効果検証、見直し等を行うために、意向把握を目的として実施」していたが、多くの住民は計画を知らずに回答していたこととなる。『新島村第3次総合計画』は新島村の指針となる最上位計画であるため、改めて周知を図る必要がある。